

(様式第 10)

26新大病
平成26

厚生労働大臣

殿

開設者名 (管理者) 鈴

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人 新潟大学 (代表者) 高橋 姿

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒951-8520 新潟市中央区旭町通 1 番町754番地	電話(025) 223-6161
-------------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1循環器内科 2内分泌・代謝内科 3血液内科 4腎臓内科 5呼吸器・感染症内科 6心療内科 7消化器内科 8肝臓・胆のう・膵臓内科 9腫瘍内科 10神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ (無)
外科と組み合わせた診療科名 1消化器外科 2乳腺・内分泌外科 3呼吸器外科 4心臓血管外科 5形成・美容外科 6小児外科 7耳鼻いんこう・頭頸部外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
⑦産婦人科	⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科
⑬放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科 2矯正歯科 3小児歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
64床	床	床	床	761床	825床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	479人	82人	499.8人	看 護 補 助 者	27人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	187人	65人	192.0人	理 学 療 法 士	12人	鍼 灸 師	70人
薬 剤 師	49人	0人	49.0人	作 業 療 法 士	4人	歯 科 技 術 士	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	5人	歯 科 技 術 士	0人
助 産 師	30人	0人	30.0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	790人	16人	800.4人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	1人	4人	3.2人	栄 養 士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	22人	5人	25.4人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	153人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	38人	その他の職員	58人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	42人	眼 科 専 門 医	13人
外 科 専 門 医	36人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精 神 科 専 門 医	6人	放射線科専門医	21人
小 児 科 専 門 医	26人	脳神経外科専門医	17人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整形外科専門医	19人
泌尿器科専門医	14人	麻 酔 科 専 門 医	17人
産婦人科専門医	25人	救 急 科 専 門 医	7人
		合 計	264人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	674.7人	25.4人	700.2人
1日当たり平均外来患者数	1,663.0人	599.3人	2,262.3人
1日当たり平均調剤数	2,679 剤		
必要医師数	168人		
必要歯科医師数	34人		
必要薬剤師数	34人		
必要(准)看護師数	427人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要
集中治療室	199m ²	鉄筋コンクリート	病床数	6床
			人工呼吸装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	48m ²	病床数
	[移動式の場合]	台数	台	3床
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	116m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名		
化学検査室	403m ²	鉄筋コンクリート	自動生化学分析装置、自動免疫分析装置、自動血球計算装置、自動尿分析装置、尿沈渣分析装置、光学顕微鏡、血液ガス分析装置、フリーザー、試薬冷蔵庫、遠心機	
細菌検査室	161m ²	鉄筋コンクリート	細菌同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌検査装置、孵卵器、光学顕微鏡、フリーザー、試薬冷蔵庫	
病理検査室	269m ²	鉄筋コンクリート	自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR装置	
病理解剖室	221m ²	鉄筋コンクリート	解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー	
研究室	711m ²	鉄筋コンクリート	パソコン等	
講義室	507m ²	鉄筋コンクリート	室数	9室
			収容定員	303人
図書室	101m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室
			蔵書数	3,800冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	
紹介率		78.2 %	逆紹介率
A: 紹介患者の数		15,336 人	
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,294 人	
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,049 人	
D: 初診の患者の数		22,204 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法	2人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	9人
腹腔鏡下子宮体がん根治術	11人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0人
有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	19人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	0人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法並びにベバシズマブ静脈内投与による維持療法	0人
急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	106 人	・膿疱性乾癬	18 人
・多発性硬化症	104 人	・広範脊柱管狭窄症	118 人
・重症筋無力症	173 人	・原発性胆汁性肝硬変	69 人
・全身性エリテマトーデス	415 人	・重症急性膵炎	19 人
・スモン	2 人	・特発性大腿骨頭壊死症	100 人
・再生不良性貧血	41 人	・混合性結合組織病	48 人
・サルコイドーシス	225 人	・原発性免疫不全症候群	11 人
・筋萎縮性側索硬化症	33 人	・特発性間質性肺炎	13 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	287 人	・網膜色素変性症	35 人
・特発性血小板減少性紫斑病	68 人	・プリオン病	1 人
・結節性動脈周囲炎	49 人	・肺動脈性肺高血圧症	26 人
・潰瘍性大腸炎	343 人	・神経線維腫症	50 人
・大動脈炎症候群	49 人	・亜急性硬化性全脳炎	
・ビュルガー病	17 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6 人
・天疱瘡	46 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	15 人
・脊髄小脳変性症	92 人	・ライソゾーム病	14 人
・クローン病	113 人	・副腎白質ジストロフィー	4 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1 人
・悪性関節リウマチ	7 人	・脊髄性筋萎縮症	4 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	130 人	・球脊髄性筋萎縮症	6 人
・アミロイドーシス	12 人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12 人
・後縦靱帯骨化症	88 人	・肥大型心筋症	11 人
・ハンチントン病	4 人	・拘束型心筋症	
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	104 人	・ミトコンドリア病	6 人
・ウェゲナー肉芽腫症	30 人	・リンパ管筋腫症(LAM)	10 人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	74 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	31 人	・黄色靱帯骨化症	5 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	148 人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院調整加算
・歯科外来診療環境体制加算	・新生児特定集中治療室退院調整加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・救急医療管理加算	・救命救急入院料
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算	・
・療養環境加算	・
・重傷者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・植込型心電図検査
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・外来放射線照射診療料	・補聴器適合検査
・ニコチン依存症管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・地域連携診療計画管理料	・内服・点滴誘発試験
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・認知症専門診断管理料	・歯科画像診断管理加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料2	・心臓MRI撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・外来化学療法加算1
・持続血糖測定器加算	・無菌製剤処理料
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的冠動脈形成術
・集団コミュニケーション療法料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・透析液水質確保加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術(レーザーシースを用いるもの)
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
・CAD/CAM冠	・大動脈バルーンポンピング法 (IABP法)
・歯科技工加算	・補助人工心臓
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・組織拡張期による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・ダメージコントロール手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術
・網膜再建術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・同種死体腎移植術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・生体腎移植術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外に係るものに限る。)	・膀胱水圧拡張術
	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	・
・インプラント義歯	・
・腹腔鏡下子宮体がん根治術	・
	・
	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検例 CPC 10回/年, 生検手術例検討会 15回/年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 17 例 / 剖検率 5.10%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による好孕性の向上に関する研究	榎本隆之	産科婦人科	972,000	補 ・ 委	新潟県
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	田邊嘉也	感染管理部	15,540,000	補 ・ 委	新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	田邊嘉也	感染管理部	230,000	補 ・ 委	新潟県
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制の構築に関する研究	西澤正豊	神経内科	5,905,000	補 ・ 委	新潟県
急性期脳卒中中の内科的治療効果の検証に関する研究	赤岩靖久	神経内科	500,000	補 ・ 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
ONO-1301類のダニ抗原による慢性気管支喘息モデルにおける気道リモデリング抑制効果の検討	鈴木榮一	医科総合診療部	1,150,000	補 ・ 委	小野薬品工業株式会社
胃がん検診受診率向上のための胃用誘導型カプセル内視鏡システムの開発等	赤澤宏平	医療情報部	1,386,000	補 ・ 委	公立大学法人福島県立医科大学
産学官連携による遺伝子注入器の開発と日本発の新規遺伝子治療への応用	上村頭也	肝胆脾内科	1,700,000	補 ・ 委	独立行政法人科学技術振興機構
ガドセト酸ナトリウム肝造影ダイナミックMRI～動脈相画像におけるtruncation artifact出現と検査条件との相関性に関する後ろ向き研究～	吉村宣彦	放射線部	483,000	補 ・ 委	バイエル薬品株式会社
HCC診断におけるEOB造影MRI所見の最適な組み合わせに関する検討	吉村宣彦	放射線部	845,250	補 ・ 委	バイエル薬品株式会社
乳腺MRIにおける月経周期・年齢による画像変化に関する研究	吉村宣彦	放射線部	905,625	補 ・ 委	バイエル薬品株式会社
医療に係る統計情報プラットフォームの共同研究	赤澤宏平	医療情報部	4,400,000	補 ・ 委	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
ヒト乳児の皮膚に関する臨床研究	齋藤昭彦	小児科	1,100,000	補 ・ 委	テルモ株式会社
TaqManPCR法によるCMV DNA測定 of 検討	高橋公太	泌尿器科	2,656,500	補 ・ 委	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
ダニエキスのアレルギー特異的免疫療法の作用機序の検討	鈴木榮一	医科総合診療部	7,000,000	補 ・ 委	鳥居薬品株式会社
ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症機序の解明	小林哲夫	歯科総合診療部	910,000	補 ・ 委	独立行政法人日本学術振興会
マウスを用いた運動誘発性気管支喘息モデルの作成とその解析	鈴木榮一	病院長	1,300,000	補 ・ 委	独立行政法人日本学術振興会
致死性虚血性不整脈の予測因子の確立および原因遺伝子同定による病態解明と治療構築	佐藤光希	循環器内科	1,690,000	補 ・ 委	独立行政法人日本学術振興会
体表面標準心電図による心内の三次元的再分極分布と不整脈リスクの評価	和泉大輔	不整脈センター	1,430,000	補 ・ 委	独立行政法人日本学術振興会
慢性腎臓病患者における骨質構成要因の探索	風間順一郎	血液浄化療法部	520,000	補 ・ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計
20件

中枢神経系脱髄疾患におけるI型インターフェロンの動態とその制御機構の解析	河内泉	神経内科	780,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
アディポカインと糖尿病関連遺伝子を用いた抗精神病薬誘発性糖脂質代謝異常発症の予測	鈴木雄太郎	精神科	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
胆嚢癌における確証的なリンパ節転移分類法の確立を目指して	坂田純	集中治療部	1,040,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症の関節マーカーの可能性と限界 ～縦断的大規模住民検診より～	山際浩史	整形外科	130,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄再生は運動および感覚機能を正常に回復できるか？脊髄機能モニタリングによる解析	飛田俊幸	麻酔科	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛にケタミンが効く機序の解明	高松美砂子	手術部	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
Dual Energy CTイメージングによる顎骨骨髓微小循環描出の試み	田中礼	歯科放射線科	650,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
Tooth Wear(咬耗)の診断基準策定のための生理的磨耗と象牙質露出調査	石崎裕子	歯科総合診療部	780,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
歯槽骨の骨構造変化を指標とした骨粗鬆症診断法の開発 ―歯科臨床からのアプローチ―	田中みか子	義歯診療科	780,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
培養口腔粘膜上皮細胞とハイドロゲルのミックス材を用いた皮膚創傷治療効果の検証	安島久雄	顎顔面口腔外科	1,560,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
fNIRSを用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する	児玉泰光	顎顔面口腔外科	650,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
安定した高い粘膜再生能を有する培養粘膜の開発 ―口腔粘膜上皮前駆／幹細胞の応用―	芳澤享子	口腔再建外科	1,560,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
多血小板血漿を歯の移植に応用する-in vivoとin vitroの検討-	新美奏恵	地域保健医療推進部	1,690,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜細胞による歯槽骨再生Phase II 臨床試験と将来の無血清化への基礎的検討	星名秀行	インプラント治療部	780,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚移植術を用いた歯髄形成過程における歯髄幹細胞とWntシグナルの役割の解明	大島邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,690,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
ピエゾセンサーを用いたX線非使用下嚙下検査の応用	木村慎二	総合リハビリテーションセンター	1,300,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
歯科臨床における技術教育の科学化	藤井規孝	歯科総合診療部	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
糖鎖の制御によるクローン病狭窄症治療	鈴木健司	消化器内科	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
ハイドロダイナミック力を用いた肝ミトコンドリアへの遺伝子導入システムの開発	須田剛士	消化器内科	2,080,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
早期胃癌における粘液形質に基づいた組織形態形成の解析と画像強調内視鏡診断の展開	小林正明	光学医療診療部	2,730,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
体外増幅赤芽球移植を用いた血管新生治療の長期予後と治療効果の予測因子の検討	小澤拓也	高次救命災害治療センター	2,210,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
難治性不整脈症候群の不整脈基盤に関与する新たな遺伝的背景の解明と個別化治療の確立	渡部裕	循環器内科	2,340,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会

小計
22件

肺癌分子標的治療における新たな効果予測因子、治療ターゲットの探索	吉澤弘久	生命科学医療センター	1,040,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍免疫の再構築をコンディショニングとした進行期肺癌に対する新たな免疫療法の開発	渡部聡	生命科学医療センター	1,560,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
腎糸球体上皮細胞におけるプロラクチン受容体の腎疾患における役割の解明	金子佳賢	腎・膠原病内科	1,950,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
シヌクレイノパチーにおける消化管病理のスペクトラム:中枢病変との相関を解析	小澤鉄太郎	神経内科	1,690,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
学校心臓病検診における新規致死性不整脈のリスクの検討	鈴木博	小児科	1,170,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
レミフェンタニルの急性耐性と痛覚過敏 —存在の是非と機序の解明—	石井秀明	麻酔科	1,560,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
疼痛制御に関与するSema3Aシグナルパスウェイの解明	紙谷義孝	麻酔科	1,690,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
多形性腺腫細胞の低酸素応答性細胞外基質改変における転移形質獲得機構	丸山智	病理検査室	1,950,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
3次元線量分布解析システムを用いた金属修復物とスペーサーの線量分布への影響の解明	勝良剛詞	歯科放射線科	1,300,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
歯髄の組織再生を促進させるための血管新生バイオマーカーに対する分子生物学的研究	金子友厚	歯の診療科	1,170,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
根管拡大形成操作解析装置の開発—シミュレータ使用のための検証—	庭野和明	歯の診療科	780,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
顎関節モビライゼーションの治療効果とそのメカニズムの解明	荒井良明	顎関節治療部	650,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
味覚と嗅覚刺激による口腔顔面痛の変調機構の解明と臨床への応用	田中裕	歯科麻酔科	1,040,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
歯根膜細胞と腱細胞の相同性からみた歯周組織再生の可能性	河野承子	小児歯科・障がい者歯科	1,560,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎罹患歯肉局所におけるアルツハイマー病関連遺伝子の発現亢進を探索	久保田健彦	歯周病科	1,690,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
スケーリング後の菌血症に伴う生体応答～IL-6コンポーネントとの関連性の解析～	小松康高	歯周病科	1,820,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
血管安定化タンパクAng1を介した脳梗塞の血管保護療法確立に関する研究	高橋哲哉	神経内科	1,560,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
高機能シミュレーターによる新しい新生児蘇生教育プログラムの開発	和田雅樹	総合周産期母子医療センター	1,690,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
致死性心室性不整脈の発生予知における神経体液性因子の有用性についての探究	古嶋博司	循環器内科	2,210,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
心不全における臨床的カルシウム過負荷の評価	柏村健	循環器内科	1,690,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎に伴う難治性急速進行性間質肺炎における抗CADM-140抗体の役割	高田俊範	魚沼地域医療教育センター準備室	2,990,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
吸入GM-CSFは肺蛋白症病変をどのように改善するか	田澤立之	生命科学医療センター	1,820,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会

小計
22件

抗インターフェロン γ 自己抗体の臨床的意義-新たな後天性免疫不全の概念として-	長谷川隆志	医科総合診療部	2,340,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
NK細胞療法における最適なドナー選定方法とキメラ型人工受容体発現の手法の開発	今井千速	小児科	1,560,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
M2型マクロファージを介した慢性腎疾患(CKD)進展機序の解明と制御法の確立	池住洋平	小児科	1,820,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
先進的三次元工学技術を基盤とした微小解剖ライブラリーを完成させる	高尾哲郎	脳神経外科	2,340,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
骨軟部肉腫における腫瘍特異的融合遺伝子を標的とした血中循環微量腫瘍細胞の検出	堀田哲夫	手術部	3,250,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
一酸化炭素中毒治療標準化のための新規MRI技術を用いた遅発性脳症発症要因の解明	寺島健史	医療情報部	1,040,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
歯髄創傷治療・再生のための α -SMA陽性線維芽細胞を軸とした多角的アプローチ	吉羽永子	歯の診療科	2,080,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
機能性食品による骨強化作用の生物学的検討～骨粗鬆症患者へのインプラント治療～	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	2,080,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
在宅診療にも応用できる、難症例に対する簡便な全部床義歯製作システムの確立	金田恒	義歯診療科	2,470,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
凍結保存歯の歯根膜細胞は高い増殖能を維持できるか	小野由起子	口腔再建外科	2,080,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
臨床癌組織の遺伝子発現解析により口腔扁平上皮癌の遠隔転移の分子機構を解明する	永田昌毅	顎顔面口腔外科	3,640,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
舌神経断裂後の味覚受容機構の回復過程の解析	吉川博之	歯科麻酔科	1,040,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
口蓋裂患者に対する上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後総合評価システムの確立	朝日藤寿一	矯正歯科	2,860,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
笑気吸入鎮静法とデクスメトミジン添加リドカインを併用した行動調整法	齊藤陽子	小児歯科・障がい者歯科	1,820,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎予防・治療におけるレスベラトロールの応用に向けた基礎的な研究	奥井隆文	歯周病科	2,210,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
IL-10応答を中心とした歯周病原細菌感染に対する慢性炎症成立機構の基盤解明	中島貴子	歯科総合診療部	1,560,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
ドライシンドロームの有症率および原因探索に関する研究	伊藤加代子	口腔リハビリテーション科	2,600,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
機械的負荷が顎関節円板内細胞に及ぼす影響—中間径フィラメントに着目して	真柄仁	摂食・嚥下機能回復部	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオーム解析による歯周炎のリウマチ治療予後への影響の解明	横山智子	歯周病科	1,300,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
多発性硬化症と視神経脊髄炎における神経変性機構の解明	佐治越彌	神経内科	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病で生じる高グルコース・高インスリン状態がアミロイド産生に及ぼす影響	徳武孝允	神経内科	1,820,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
腸管を介した歯周炎-メタボリックシンドローム病因論 -TRPチャンネルの関与-	野中由香莉	歯周病科	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会

小計
22件

血糖値により変化する脊髄虚血時間の安全域	西塔毅	臨床工学部門	600,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
メガリンの細胞内シグナルと尿中逸脱機序の解明	保坂聖子	腎・膠原病内科	1,170,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
自発性異常味覚の評価法としての主観的および客観的指標の臨床応用に関する研究	船山さおり	口腔リハビリテーション科	1,300,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
ハイドロダイナミック遺伝子導入法による非ヒト霊長類への遺伝子治療	上村顕也	肝胆臓内科	650,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
肝内胆管癌発癌過程におけるLi-カドヘリンの役割と早期診断への応用	高村昌昭	消化器内科	780,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
難聴モデルマウスを用いた聴覚野周波数マップの研究:耳鳴の積極的予防を目指して	窪田和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,176,736	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
メカノレセプターとしてのプライマリー・シリアによる歯根膜維持機構	加来咲子	冠・ブリッジ診療科	1,974,454	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
骨粗鬆症患者へのインプラント適用を目的としたエピジェネティクスによる骨代謝制御	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	58,960	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
抗アポトーシスタンパクHSP27の細胞内導入法を用いた効果的な骨造成法の開発	川崎真依子	冠・ブリッジ診療科	1,690,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
歯周病原細菌感染度と腎機能の関連—歯周病が慢性腎臓病に与える影響の解明—	岩崎正則	予防歯科	1,170,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
肺線維化進展における組織幹細胞・前駆細胞の意義の解明とその免疫学的除去の試み	坂上拓郎	総合臨床研修センター	1,300,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
麻酔薬による脊髄保護効果の電気生理学的解析	本田博之	高次救命災害治療センター	1,820,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
子宮頸癌センチネルリンパ節ナビゲーション手術におけるリンパ節微小転移の検索	西野幸治	産科婦人科	2,080,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
ヒト卵巣がん幹細胞における幹細胞制御因子の役割の解析	石黒達也	産科婦人科	1,040,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
加齢性難聴発症のメカニズム—骨代謝シグナル分子の解析	森田由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
HDACiによる骨代謝制御を応用した骨増成法の基礎的評価-全身投与と局所投与-	秋葉陽介	冠・ブリッジ診療科	2,080,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
アイトラッキング法と質的評価を用いて顎変形症患者における顔貌の自己認識を分析する	加藤祐介	口腔再建外科	910,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
ケラチン17は口腔扁平上皮癌細胞を活性化させる:14-3-3σの挙動との対比解析	三上俊彦	口腔再建外科	1,170,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
FGF2徐放を用いた低侵襲で確実性のある歯槽骨再生—生物学的裏付けを伴う組織工学	小玉直樹	顎顔面口腔外科	1,560,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
唾液中ストレスマーカーは口腔乾燥の指標となりえるか	濃野要	予防歯科	910,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
インシュリン抵抗性関連遺伝子多型が抗菌的歯周治療の効果に及ぼす影響について	松本沙耶香	予防歯科	1,950,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会
STAMマウスを用いた腸粘膜バリアー機能改善によるNASH進展阻止の試み	本田穰	光学医療診療部	2,080,000	(補・委)	独立行政法人日本学術振興会

小計
22件

新規慢性期脳梗塞治療戦略としてのグリア細胞による組織リモデリングの検討	金澤雅人	神経内科	1,950,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
静脈投与したリドカインの脊髄における鎮痛機序の解明	倉部美起	麻酔科	1,950,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
難聴モデルマウスを用いた聴覚野周波数マップ可塑性の研究	窪田和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,860,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
「周波数選択性」とAuditory Neuropathyにおける語音聴取能低下	泉修司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,120,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
口腔上皮内癌における細胞競合現象の認識とその病理学的意義の解明	阿部達也	病理検査室	2,210,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
実験的歯髄炎におけるトランスポーターを介したプロスタグランジンE2輸送機構の解析	大倉直人	歯の診療科	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
実験的根尖性歯周炎における血管新生関連因子の局在および遺伝子発現解析	山中裕介	歯の診療科	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
超音波診断装置を用いた咀嚼筋の硬さの定量的評価方法の確立	高嶋真樹子	顎関節治療部	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
歯科用コーンビームCTにおける指標となる骨密度測定用ファントムの開発	青柳裕仁	冠・ブリッジ診療科	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
有限要素法を用いた顎矯正手術後の顎骨内応力解析による術後変化予測とその臨床応用	丹原惇	矯正歯科	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
アクアポリン1を用いた歯の移動におけるラット臼歯歯根膜動態の比較検討	吉居朋子	矯正歯科	1,170,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
顎矯正手術シミュレーションへの応用を視野とした術前後軟組織変化様相の解明	焼田裕里	矯正歯科	3,380,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
摂食過程における生体機能と食塊物性の変化を追う	谷口裕重	摂食・嚥下機能回復部	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
抗菌薬による腎障害の分子機序の解明と予防法の検討	青木信将	集中治療部	2,210,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
ゲル試料の摂取方法が嚥下機能に与える影響-Oral Processingの重要性	林宏和	口腔リハビリテーション科	2,210,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
解剖体造影CTを用いた下顎骨インプラント手術時のリスクの検証と指標化	勝見祐二	インプラント治療部	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子発現データに基づく予後予測モデル構築の統計理論の開発と実データによる検証	赤澤宏平	医療情報部	1,430,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
急性期病院における患者特性を考慮した退院支援のあり方	鈴木一郎	地域保健医療推進部	910,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いたGM-CSF自己抗体産生機序の解明	中田光	生命科学医療センター	1,300,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いたGM-CSF自己抗体産生機序の解明	中田光	生命科学医療センター	2,340,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
重大外傷をアウトカムとした転倒リスクアセスメントの多施設共同研究による有用性検証	鳥谷部真一	医療安全管理部	2,730,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会
重大外傷をアウトカムとした転倒リスクアセスメントの多施設共同研究による有用性検証	鳥谷部真一	医療安全管理部	1,040,000	補・委	独立行政法人日本学術振興会

小計
22件

日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究(JDCS)	羽入 修	内分泌代謝内科	700,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立	赤澤宏平	医療情報部	200,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	中田 光	生命科学医療センター	540,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
医療事故に対する医療機関内における包括的対応マネジメントモデルに関する研究	鳥谷部 真一	危機管理室	300,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
肺胞蛋白症の吸入治療のための新規GM-CSF製剤の非臨床試験	田澤 立之	生命科学医療センター	38,350,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	中田 光	生命科学医療センター	195,429,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
遺伝性不整脈疾患の遺伝子基盤に基づいた病態解明と診断・治療法の開発に関する研究	渡部 裕	循環器内科	1,500,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
難治性稀少肺疾患(肺胞蛋白症、先天性間質性肺疾患、オスラー病)に関する調査研究	田澤 立之	生命科学医療センター	1,300,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
難治性稀少肺疾患(肺胞蛋白症、先天性間質性肺疾患、オスラー病)に関する調査研究	中田 光	生命科学医療センター	6,000,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	田邊 嘉也	感染管理部	7,500,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
国内で流行するHIV遺伝型および薬剤耐性株の動向と治療方法の確立に関する研究	田邊 嘉也	感染管理部	1,000,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究	田邊 嘉也	感染管理部	1,200,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発	田邊 嘉也	感染管理部	500,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
新評価方法を用いたフォールディング病の分子シャペロン療法の検討	赤澤 宏平	医療情報部	1,000,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金
高速シーケンサーを用いた包括的臨床遺伝子検査システムの構築	吉澤 弘久	生命科学医療センター	1,500,000	補・委	厚生労働科学研究費補助金

小計15
件
計145件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Sato A, Chinushi M, Izumi D, Furushima H, Minamino T.	循環器内科	Malfunction of Cardiac Resynchronization Therapy due to Subsequent Fracture of the Ring and Tip Conductors of a Co-radial Left Ventricular Bipolar Lead	Internal Medicine 2013; 52:1189-1193
2	Villafane J, Atallah J, Gollob MH, Maury P, Wolpert C, Gebauer R, Watanabe H, Horie M, Anttonen O, Kannankeril P, Faulkner B, Bleiz J, Makiyama T, Shimizu W, Hamilton RM, Young ML.	循環器内科	Long-term follow-up of a pediatric cohort with short qt syndrome	J Am Coll Cardiol 2013; 61:1183-1191.
3	Watanabe T, Hanawa H, Suzuki T, Jiao S, Yoshida K, Ogura M, Ohno Y, Hayashi Y, Ito M, Kashimura T, Obata H, Sato A, Ozawa T, Kodama M, Sakuraba H, Minamino T	循環器内科	Mutant mRNA Expression in Endomyocardial Biopsy Sample from a Patient with Cardiac Variant of Fabry Disease Caused by a Novel Acceptor Splice Site Mutation in the Invariant AG of Intron 5 of α -Galactosidase A Gene	Internal Medicine 2013; 52:777-780.
4	Watanabe H, van der Werf C, Roses-Noguer F, Adler A, Sumitomo N, Veltmann C, Rosso R, Bhuiyan ZA, Bikker H, Kannankeril PJ, Horie M, Minamino T, Viskin S, Knollmann BC, Till J, Wilde AA.	循環器内科	Effects of flecainide on exercise-induced ventricular arrhythmias and recurrences in genotype-negative patients with catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia	Heart Rhythm 2013; 10:542-547.

小計 4件

5	Watanabe H, Ohkubo K, Watanabe I, Matsuyama TA, Ishibashi-Ueda H, Yagihara N, Shimizu W, Horie M, Minamino T, Makita N.	循環器内科	Scn5a mutation associated with ventricular fibrillation, early repolarization, and concealed myocardial abnormalities	Int J Cardiol 2013;165:e21- 23.
6	Watanabe H, Minamino T.	循環器内科	Role of mutations in l-type calcium channel genes in brugada syndrome, early repolarization syndrome, and idiopathic ventricular fibrillation associated with right bundle branch block	Circ J 2013;77: 1689-1690.
7	Watanabe H, Minamino T.	循環器内科	Similarities and differences of clinical characteristics between brugda syndrome and early repolarization syndrome	Journal of Arrhythmia 2013;29:134- 137.
8	Nakano Y, Chayama K, Ochi H, Toshishige M, Hayashida Y, Miki D, Hayes CN, Suzuki H, Tokuyama T, Oda N, Suenari K, Uchimura- Makita Y, Kajihara K, Sairaku A, Motoda C, Fujiwara M, Watanabe Y, Yoshida Y, Ohkubo K, Watanabe I, Nogami A, Hasegawa K, Watanabe H, Endo N, Aiba T, Shimizu W, Ohno S, Horie M, Arihiro K, Tashiro S, Makita N, Kihara Y.	循環器内科	A nonsynonymous polymorphism in semaphorin 3a as a risk factor for human unexplained cardiac arrest with documented ventricular fibrillation	PLoS Genet 2013;9: e1003364.

小計 4件

9	Bezzina CR, Barc J, Mizusawa Y, Remme CA, Gourraud JB, Simonet F, Verkerk AO, Schwartz PJ, Crotti L, Dagradi F, Guicheney P, Fressart V, Leenhardt A, Antzelevitch C, Bartkowiak S, Schulze-Bahr E, Zumhagen S, Behr ER, Bastiaenen R, Tfelt-Hansen J, Olesen MS, Kaab S, Beckmann BM, Weeke P, Watanabe H, Endo N, Minamino T, Horie M, Ohno S, Hasegawa K, Makita N, Nogami A, Shimizu W, Aiba T, Froguel P, Balkau B, Lantieri O, Torchio M, Wiese C, Weber	循環器内科	Common variants at scn5a-sc10a and hey2 are associated with brugada syndrome, a rare disease with high risk of sudden cardiac death	Nature genetics 2013;45:1044- 1049.
10	Jiao S, Hanawa H, Suzuki T, Hu YH, Yoshida K, Ogura M, Ohno Y, Ito M, Kashimura T, Obata H, Kodama M.	循環器内科	Estimation of paracrine signaling using quantitative RT-PCR from multiple patchy lesion samples	Mol Cell Probes 2013;27:109- 113.
11	Chang H, Wang Y, Wu W, Li G, Hanawa H, Zou J.	循環器内科	Hydrodynamics-based delivery of an interleukin-1 receptor II fusion gene ameliorates rat autoimmune myocarditis by inhibiting IL-1 and Th17 cell polarization	Int J Mol Med 2013;31:833- 840.
12	Watanabe T, Hanawa H, Suzuki T, Jiao S, Yoshida K, Ogura M, Ohno Y, Hayashi Y, Ito M, Kashimura T, Obata H, Sato A, Ozawa T, Kodama M, Sakuraba H and Minamino T.	循環器内科	A Mutant mRNA Expression in an Endomyocardial Biopsy Sample Obtained from a Patient with a Cardiac Variant of Fabry Disease Caused by a Novel Acceptor Splice Site Mutation in the Invariant AG of Intron 5 of the α - Galactosidase A Gene	Intern Med 2013;52:777- 780.

13	Nakamura A, Nagaya N, Obata H, Sakai K, Sakai Y, Yoshikawa M, Hamada K, Matsumoto K, Kimura H.	循環器内科	Oral administration of a novel long-acting prostacyclin agonist with thromboxane synthase inhibitory activity for pulmonary arterial hypertension	Circ J 2013;77: 2127-2133.
14	Chinushi M, Iijima K, Furushima H, Izumi D, Sato A, Yagihara N, Hasegawa K, Watanabe H, Soejima K, Aizawa Y.	循環器内科	Suppression of storms of ventricular tachycardia by epicardial ablation of isolated delayed potential in noncompaction cardiomyopathy	Pacing Clin Electrophysiol 2013;36:e115-119.
15	Chinushi M.	循環器内科	Ventricular Repolarization Gradient and ECG Characteristics of Tako-Tsubo Cardiomyopathy	Heart Rhythm 2013;10:78-79.
16	Chinushi M, Iijima K, Sato A, Furushima H.	循環器内科	Short-coupling Premature Ventricular Complexes from Left Ventricle Triggered Isoproterenol Resistant Electrical Storm in a Patient of Brugada Syndrome	Heart Rhythm 2013;10:916-920.
17	Chinushi M, Izumi D, Iijima K, Suzuki K, Furushima H, Saitoh O, Furuta Y, Aizawa Y, Iwafuchi M.	循環器内科	Blood pressure and autonomic responses to electrical stimulation of the renal arterial nerves before and after ablation of the renal artery	Hypertension 2013;61:450-456.
18	Chinushi M.	循環器内科	Amiodarone-related sinoatrial node dysfunction and its implications in the treatment of atrial fibrillation	Circ J 2013;77: 2240-2241.

小計 6件

19	Hasegawa K, Ohno S, Ashihara T, Itoh H, Ding WG, Toyoda F, Makiyama T, Aoki H, Nakamura Y, Delisle BP, Matsuura H, Horie M.	循環器内科	Novel KCNQ1 Missense Mutation Identified in a Patient with Juvenile-Onset Atrial Fibrillation Causes Constitutively Open IKs Channel	Heart Rhythm 2013 (in press).
20	Hasegawa K, Ohno S, Itoh H, Makiyama T, Aiba T, Nakano Y, Shimizu W, Matsuura H, Makita N, Horie M.	循環器内科	A rare KCNE1 polymorphism, D85N, as a genetic modifier of long QT syndrome	Journal of Arrhythmia 2013 (in press)
21	Kawamura M, Ohno S, Naiki N, Nagaoka I, Dochi K, Wang Q, Hasegawa K, Kimura H, Miyamoto A, Mizusawa Y, Itoh H, Makiyama T, Sumitomo N, Ushinohama H, Oyama K, Murakoshi N, Aonuma K, Horigome H, Honda T, Yoshinaga M, Ito M, Horie M.	循環器内科	Genetic background of catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia in Japan	Circ J 2013;77: 1705-1713.
22	Aizawa Y, Chinushi M, Hasegawa K, Naiki N, Horie M, Kaneko Y, Kurabayashi M, Ito S, Imaizumi T, Aizawa Y, Takatsuki S, Joo K, Sato M, Ebe K, Hosaka Y, Haissaguerre M, Fukuda K.	循環器内科	Electrical Storm in Idiopathic Ventricular Fibrillation is Associated with Early Repolarization	J Am Coll Cardiol 2013; 62:1015-1019.

23	Yanagawa T, Toba K, Suzuki T, Ozawa T, Oda M, Takayama T, Kato K, Aizawa Y.	循環器内科	Erythropoietin induces angiogenesis in a manner dependent on the intrinsic auto/paracrine production of interleukin- 6 in vitro	Int J Cardiol 2013;168:2941- 2943.
24	Yanagawa T, Toba K, Kato K, Suzuki T, Minagawa S, Saigawa T, Ozawa T, Oda M, Takayama T, Hanawa H, Higuchi M, Saito H, Aizawa Y.	循環器内科	Asialoerythropoietin exerts stronger angiogenic activity than erythropoietin via its binding affinity to tissue	Cardiovasc Drugs Ther 2013;27:117- 124.
25	Kashimura T, Kodama M, Watanabe T, Tanaka K, Hayashi Y, Ohno Y, Obata H, Ito M, Hirono S, Hanawa H, Minamino T.	循環器内科	Relative Refractoriness of Left Ventricular Contraction Underlies Human Tachycardia-Induced Mechanical and Electrical Alternans	Pacing Clin Electrophysiol 2013 (in press)
26	Kashimura T, Kodama M, Tanaka K, Sonoda K, Watanabe S, Ohno Y, Tomita M, Obata H, Mitsuma W, Ito M, Hirono S, Hanawa H, Aizawa Y.	循環器内科	Mechanical alternans in human idiopathic dilated cardiomyopathy is caused with impaired force-frequency relationship and enhanced poststimulation potentiation	Heart Vessels 2013;28:336- 344.
27	Sato A, Chinushi M, Izumi D, Furushima H, Minamino T.	循環器内科	Malfunction of cardiac resynchronization therapy due to subsequent fracture of the ring and tip conductors of a co-radial left ventricular bipolar lead.	Intern Med 2013;52:1189- 1193.
28	Shimizu I, Yoshida Y, Katsuno T, Minamino T.	循環器内科	Adipose tissue inflammation in diabetes and heart failure,	Microbes and Infection 2013; 15:11-17.

29	Shimizu I, Yoshida Y, Moriya J, Nojima A, Uemura A, Kobayashi Y, Minamino T.	循環器内科	Semaphorin-induced inflammation contributes to insulin resistance in dietary obesity	Cell Metab 2013;18:491-504.
30	Kawashima H, Takatori H, Suzuki K, Iwata A, Yokota M, Suto A, Minamino T, Hirose K, Nakajima H.	循環器内科	Tumor suppresser p53 inhibits systemic autoimmune diseases by inducing regulatory T cells	J Immunol 2013;191:3614-3623.
31	Ozasa Y, Akazawa H, Qin Y, Tateno K, Ito K, Kudo- Sakamoto Y, Yano M, Yabumoto C, Naito AT, Oka T, Lee JK, Minamino T, Nagai T, Kobayashi Y, Komuro I.	循環器内科	Notch activation mediates angiotensin II-induced vascular remodeling by promoting the proliferation and migration of vascular smooth muscle cell	Hypertens Res 2013;36:859-865.
32	Nojima A, Yamashita M, Yoshida Y, Shimizu I, Ichimiya H, Kamimura N, Kobayashi Y, Ohta S, Naoaki I, Minamino T.	循環器内科	Haploinsufficiency of Akt1 prolongs the lifespan of mice	PLoS One 2013; 8:e69178.

小計 4件

33	Tomita K, Teratani T, Suzuki T, Oshikawa T, Yokoyama H, Shimamura K, Nishiyama K, Mataki N, Irie R, Minamino T, Okada Y, Kurihara C, Ebinuma H, Saito H, Shimizu I, Yoshida Y, Hokari R, Sugiyama K, Hatsuse K, Yamamoto J, Kanai T, Miura S, Hibi T.	循環器内科	p53/p66Shc-mediated signaling contributes to the progression of non- alcoholic steatohepatitis in humans and mice	J Hepatol 2013; 57:837-843.
34	Suzuki T, Toba K, Kato K, Ozawa T, Higasimura M, Kitajima T, Oda H, Tsuchida K, Tomosugi N, Saitoh H, Aizawa Y.	循環器内科	Serum ferritin levels adversely affect cardiac function in patients with ST- elevation myocardial infarction who underwent successful percutaneous coronary intervention	Int J Cardiol 2013;167:286- 288.
35	Suzuki T, Toba K, Kato K, Ozawa T, Suzuki H, Tomosugi N, Saitoh H, Aizawa Y.	循環器内科	Effects of erythropoietin administration on iron status in patients with ST- elevation myocardial infarction who underwent successful percutaneous coronary intervention	Int J Cardiol 2013;167:1644- 1645.
36	Yamagiwa S	第三内科	Autoantibodies in primary biliary cirrhosis: recent progress in research on the pathogenetic and clinical significance.	World J Gastroenterol. 2014 Mar 14;20(10):2606- 12. doi: 10.3748/wjg.v20. i10.2606. Review.
37	Yamagiwa S	第三内科	Increase of fucosylated alpha- fetoprotein fraction at the onset of autoimmune hepatitis and acute liver failure.	Hepatol Res. 2014 Feb 25. doi: 10.1111/hepr.12 318.

小計 5件

38	Tuchiya A	第三内科	PolySia-NCAM modulates the formation of ductular reactions in liver injury.	Hepatology. 2014 Feb 28. doi: 10.1002/hep.27099.
39	Ikarashi S	第三内科	Re-evaluation of phenotypic expression in undifferentiated-type early gastric adenocarcinomas using mucin core protein and CDX2.	Gastric Cancer. 2013 Apr;16(2):208-19. doi:10.1007/s10120-012-0172-3. Epub 2012 Jul 25.
40	Kamimura K	第三内科	Parameters Affecting Image-guided, Hydrodynamic Gene Delivery to Swine Liver.	Mol Ther Nucleic Acids. 2013 Oct 15;2:e128. doi: 10.1038/mtna.2013.52
41	Kamimura K	第三内科	Granulocytapheresis for the treatment of severe alcoholic hepatitis: a case series and literature review	Dig Dis Sci. 2014 Feb;59(2):482-8. doi: 10.1007/s10620-013-2871-y. Epub 2013 Sep 20
42	Sato Y	第三内科	Usefulness of endoscopic submucosal dissection for type I gastric carcinoid tumors compared with endoscopic mucosal resection.	Hepatogastroenterology. 2013 Sep;60(126):1524-9. doi: 10.5754/hge121185
43	Takeuchi M	第三内科	Salvage endoscopic submucosal dissection in patients with local failure after chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma	Scand J Gastroenterol. 2013 Sep;48(9):1095-101. doi:10.3109/00365521.2013.822092. Epub 2013 Aug 2

小計 6件

44	Kobayashi Y	第三内科	Immunohistochemical character of hepatic angiomyolipoma: for its management	Case Rep Med. 2013;2013:298143. doi: 10.1155/2013/298143. Epub 2013 Jun 20
45	Suda T	第三内科	Active treatments are a rational approach for hepatocellular carcinoma in elderly patients	World J Gastroenterol. 2013 Jun 28;19(24):3831-40. doi:10.3748/wjg.v19.i24.3831
46	Yamada K	第三内科	Low fat intake is associated with pathological manifestations and poor recovery in patients with hepatocellular carcinoma.	Nutr J. 2013 Jun 8;12:79.doi: 10.1186/1475-2891-12-79
47	Matsuda Y	第三内科	Clinical significance of cell cycle inhibitors in hepatocellular carcinoma.	Med Mol Morphol. 2013 Dec;46(4):185-92.doi: 10.1007/s00795-013-0047-7. Epub 2013 May 3
48	Tamura Y	第三内科	Value of highly sensitive fucosylated fraction of alpha-fetoprotein for prediction of hepatocellular carcinoma recurrence after curative treatment.	Dig Dis Sci. 2013 Aug;58(8):2406-12. doi: 10.1007/s10620-013-2661-6. Epub 2013 Apr 18
49	Yano M	第三内科	Hepatitis B virus X induces cell proliferation in the hepatocarcinogenesis via up-regulation of cytoplasmic p21 expression.	Liver Int. 2013 Sep;33(8):1218-29.doi: 10.1111/liv.12176. Epub 2013 Apr 17

小計 6件

50	Ikarashi S	第三内科	Re-evaluation of phenotypic expression in undifferentiated-type early gastric adenocarcinomas using mucin core protein and CDX2.	Gastric Cancer. 2013 Apr;16(2):208-19. doi: 10.1007/s10120-012-0172-3. Epub 2012 Jul 25.
51	Sato M	第三内科	P21-activated kinase-2 is a critical mediator of transforming growth factor-beta-induced hepatoma cell migration	J Gastroenterol Hepatol. 2013 Jun;28(6):1047-55. doi: 10.1111/jgh.12150
52	Kobayashi M	第三内科	Magnifying narrow-band imaging of surface maturation in early differentiated-type gastric cancers after Helicobacter pylori eradication	J Gastroenterol. 2013 Dec;48(12):1332-42. doi: 10.1007/s00535-013-0764-7. Epub 2013 Feb 19.
53	Yokoo T	第三内科	Novel electric power-driven hydrodynamic injection system for gene delivery: safety and efficacy of human factor IX delivery in rats	Gene Ther. 2013 Aug;20(8):816-23. doi: 10.1038/gt.2013.2. Epub 2013 Jan 24
54	Hara Y	第三内科	Successful laparoscopic division of a patent ductus venosus: report of a case	Surg Today. 2013 Apr;43(4):434-8. doi:10.1007/s00595-012-0316-4. Epub 2012 Sep 4
55	Matsuda Y	第三内科	Valproic acid overcomes transforming growth factor-beta-mediated sorafenib resistance in hepatocellular carcinoma.	Int J Clin Exp Pathol. 2014 Mar 15;7(4):1299-313. eCollection2014.
56	Aso-Ishimoto Y	第三内科	Increased activated natural killer T cells in the liver of patients with advanced stage primary biliary cirrhosis.	Biomed Res. 2014;35(2):161-9.

57	Abe H	第三内科	Early diagnosis of hepatic intravascular lymphoma: a case report and literature review.	Intern Med. 2014;53(6):587-93
58	Masaaki Takamura1	第三内科	Value of shear wave velocity measurements for the risk assessment of hepatocellular carcinoma development in patients with nonalcoholic fatty liver disease HCC risk assessment by VTTQ	Hepatology international
59	Yokoo T, Kamimura K, Suda T, Kanefuji T, Oda M, Zhang G, Liu D, Aoyagi Y.	第三内科	Novel electric power-driven hydrodynamic injection system for gene delivery: safety and efficacy of human factor IX delivery in rats.	Gene Ther 20: 816-823.
60	Kobayashi Y, Kamimura K, Nomoto M, Sugitani S, Aoyagi Y	第三内科	Immunohistochemical character of hepatic angiomyolipoma: for its management.	Case Rep Med
61	Wada Y, Saeki T, Yoshita K, Ayalon R, Kamimura K, Nakano M, Narita I.	第三内科	Development of IgG4-related disease in a patient diagnosed with idiopathic membranous nephropathy.	Clin Kidney 6: 486-490.
62	Kamimura K, Suda T, Zhang G, Aoyagi Y, Liu D.	第三内科	Parameters Affecting Image-guided, Hydrodynamic Gene Delivery to Swine Liver.	Mol Ther Nucleic Acids 2:e128.
63	Kamimura K, Abe H, Suda T, Aoyagi Y, Liu D.	第三内科	Liver-directed Gene Therapy.	JSM Gastroenterol Hepatol. 1: 1005.

小計 7件

64	Kamimura K, Imai M, Sakamaki A, Mori S, Kobayashi M, Mizuno K, Takeuchi M, Suda T, Nomoto M, Aoyagi Y.	第三内科	Granulocytopheresis for the treatment of severe alcoholic hepatitis: a case series and literature review.	Dig Dis Sci 59: 482-488.
65	Abe H, Kamimura K, Mamizu M, Shibazaki Y, Ishiguro T, Katada S, Nishiyama YK, Takahashi Y, Hatano YY, Mizuno K, Watanabe Y, Nagashima A, Takizawa J, Takeuchi M, Kawai H, Nomoto M, Sone H, Nishizawa M, Aoyagi Y.	第三内科	Early diagnosis of hepatic intravascular lymphoma: a case report and literature review.	Intern Med 53: 587-593.
66	Kamimura K, Abe H, Aoyagi Y.	第三内科	Alcoholic Liver Disease: a Review.	Austin J Gastroenterol. 1(2): 3.
67	Abe H, Kamimura K, Yokoo T, Suda T, Kobayashi Y, Aoyagi Y.	第三内科	Gene Therapy for Liver Fibrosis.	JSM Gastroenterol Hepatol 2(3): 1028.

小計 4件

68	Zhou Q1, Ye X1, Sun R1, Matsumoto Y1, Moriyama M1, Asano Y1, Ajioka Y1, Saijo Y2.	1Department of Medical Oncology and Division of Molecular and Diagnostic Pathology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Department of Pediatric Hematology, Shengjing Hospital of China Medical University, Shenyang, People's Republic of China; Department of Neuroanatomy, Cell Biology, and Histology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, 2Department of Medical Oncology and Division of Molecular and Diagnostic Pathology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan; Department of Pediatric Hematology, Shengjing Hospital of China Medical University, Shenyang, People's Republic of China; Department of Neuroanatomy, Cell	Differentiation of mouse induced pluripotent stem cells into alveolar epithelial cells in vitro for use in vivo.	Stem Cells Transl Med. 2014 Jun;3(6):675-85.
69	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Changes in QT interval after switching to quetiapine in Japanese patients with schizophrenia.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 28(1): 94-96, 2013.
70	Kitamura H	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Personality and resilience associated with perceived fatigue of local government employees responding to disasters.	J Occup Health 55(1): 1-5, 2013.
71	Watanabe J	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Lipid effects of psychiatric medications.	Curr Atheroscler Rep 15(1): 292, 2013.

小計 4件

72	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Association of the BDNF C270T polymorphism with schizophrenia: Updated meta-analysis.	Psychiatry Clin Neurosci 67(2): 123-125, 2013.
73	Yukawa T	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Manic symptoms associated with pregabalin in a patient with conversion disorder (letter).	Psychiatry Clin Neurosci 67(2): 129-130, 2013.
74	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Low prevalence of metabolic syndrome and its prediction in Japanese inpatients with schizophrenia.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 28(2): 188-191, 2013.
75	Ono S	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Prolongation of idiopathic thrombocytopenic purpura associated with paroxetine administration.	Gen Hosp Psychiatry 35(2): 213, 2013.
76	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Differences in plasma prolactin levels in patients with schizophrenia treated on monotherapy with five second- generation antipsychotics.	Schizophr Res 145(1-3): 116- 119, 2013.
77	Egawa J	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Resequencing and association analysis of MIR137 with schizophrenia in a Japanese population.	Psychiatry Clin Neurosci 67(4): 277-279, 2013.
78	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Sex differences in the effect of four second-generation antipsychotics on QTc interval in patients with schizophrenia.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 28(3): 215-219, 2013.
79	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Impact of the ABCB1 gene polymorphism on plasma 9- hydroxyrisperidone and active moiety levels in Japanese patients with schizophrenia	J Clin Psychopharmacol 33(3): 411-414, 2013.

80	Egawa J	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Association between OXTR and clinical phenotypes of autism spectrum disorders (letter).	Psychiatry Res 208(1): 99-100, 2013.
81	Ono S	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The prevalence of glucose intolerance in Japanese schizophrenic patients with a normal fasting glucose level.	J Clin Psychopharmacol 33(4): 525-527, 2013.
82	Hasegawa N	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Neural activity in the posterior superior temporal region during eye contact perception correlates with autistic traits	Neurosci Lett 549: 45-50, 2013.
83	Egawa J	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Association of rs2129575 in the tryptophan hydroxylase 2 gene with clinical phenotypes of autism spectrum disorders (letter).	Psychiatry Clin Neurosci 67(6): 457-458, 2013.
84	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Effects of hospitalization in a psychiatric ward on the body weight of Japanese patients with schizophrenia.	Int J Psychiatry Med 45(3): 261- 268, 2013.
85	Hasegawa N	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Altered activity of the primary visual area during gaze processing in individuals with high-functioning autistic spectrum disorder: A magnetoencephalography study.	Neuropsychobiol ogy 68(3): 181- 188, 2013.
86	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Late-onset delirium following an overdose of acetaminophen in a case of benzodiazepine dependence.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci 25(4): E28-29, 2013.
87	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Replication in a Japanese population that a MIR30E gene variation is associated with schizophrenia (letter).	Schizophr Res 150(2-3): 596- 597, 2013.
88	Igeta H	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Deterioration in donepezil-induced PR prolongation after a coadministration of memantine in a patient with Alzheimer's disease. Gen Hosp Psychiatry (in press).	Gen Hosp Psychiatry 35(6): 680, 2013.

89	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	High prevalence of underweight and undernutrition in Japanese inpatients with schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci 68(1): 78-82, 2014.
90	Egawa J	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Possible association between the oxytocin receptor gene and N- acetylaspartate of the right medial temporal lobe in autism spectrum disorders (letter).	Psychiatry Clin Neurosci 68(1): 83, 2014.
91	Suzuki Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Effects of olanzapine on the PR and QT intervals in patients with schizophrenia.	Schizophr Res 152(1): 313-314, 2014.
92	Shibuya M	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Interleukin 1 beta gene and risk of schizophrenia: Detailed case-control and family-based studies and an updated meta-analysis.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 29(1): 31-37, 2014.
93	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The cardiomyopathy-associated 5 (CMYA5) gene and risk of schizophrenia: Meta-analysis of rs3828611 and rs4704591 in East Asian populations (letter).	Asian J Psychiatr 7: 95- 96, 2014.
94	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	A rare MIR138-2 gene variation is associated with schizophrenia in a Japanese population (letter).	Psychiatry Res 215(3): 801-802, 2014.
95	Igeta H	Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Cardiovascular pharmacodynamics of donepezil hydrochloride on the PR and QT intervals in patients with dementia.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 29(3): 292-294, 2014.
96	Ikezumi Y	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Establishment of a normal reference value for serum B2 microglobulin in Japanese children: reevaluation of its clinical usefulness.	Clin Exp Nephrol 17: 99- 105, 2013

小計 8件

97	Ikezumi Y	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Low birthweight and premature birth are risk factors for podocytopenia and focal segmental glomerulosclerosis.	Am J Nephrol 38: 149-157, 2013
98	Nagasaki K	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Neuromuscular symptoms in a patient with familial pseudohypoparathyroidism type Ib diagnosed by methylation- specific multiplex ligation-dependent probe amplification.	Endocr J. 60:231-6, 2013
99	Ozawa J, Suzuki H, Hasegawa S, Numano F, Haniu H, Watanabe K, Uchiyama M, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Two cases of New Coronary Aneurysms that developed in the Late Period after Kawasaki Disease.	Pediatric cardiology. 2013;34(8):1992- 5
100	Oishi T	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Low opsonic activity to the infecting serotype in pediatric patients with invasive pneumococcal disease.	Vaccine. 2013 Jan 21;31(5):845-9.
101	Kasahara Y	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Alveolar rhabdomyosarcoma after treatment of osteosarcoma.	Pediatr Int. 2013 Aug;55(4):527- 30.
102	Kobayashi K, Koyama Y, Kosugi S, Ishikawa T, Sakamoto K, Ichikawa H, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Is Early Enteral Nutrition Better for Postoperative Course in Esophageal Cancer Patients?	Nutrients 2013;5:3461- 3469.
103	Manba N, Koyama Y, Kosugi S, Ishikawa T, Ichikawa H, Minagawa M, Kobayashi T, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Is early enteral nutrition initiated within 24 hours better for the postoperative course in esophageal cancer surgery?	J Clinl Med Res 2014;6(1):53-58.
104	Koyama Y, Ichikawa H, Sakata J, Sakata E, Tatsuda K, Hasegawa M, Toshikawa C, Manba N, Ikarashi M, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Enhanced Aquaporin8 expression after subtotal colectomy in rat.	Open J Gastroenterol 2013;3(5):253- 258

105	Koyama Y, Ichikawa H, Sakata J, Sakata E, Tatsuda K, Hasegawa M, Toshikawa C, Manba N, Ikarashi M, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	The Association between Sentinel Lymph Node Metastasis and Ki-67 Labeling Index.	Adv. Breast Cancer Res 2, 2013:60-65.
106	Takabayashi H, Wakai T, Ajioka Y, Korita PV, Yamaguchi N.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Alteration of the DNA damage response in colorectal tumor progression.	Hum Pathol. 2013;44(6):1038-46.
107	Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Sanpei A, Fujimaki S.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Mycotoxins are conventional and novel risk biomarkers for hepatocellular carcinoma	World J Gastroenterol 19(17):2587-90, 2013.
108	Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y, Osawa M, Fujimaki S, Sanpei A, Genda T, Ichida T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Clinical significance of cell cycle inhibitors in hepatocellular carcinoma.	Med Mol Morphol. 2013 Dec;46(4):185-92
109	Kosugi S, Kanda T, Yajima K, Ishikawa T, Sakamoto K.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Risk factors influencing the pleural drainage volume after transthoracic oesophagectomy.	Eur J Cardiothorac Surg. 2013; 43:1116-20
110	Kosugi S, Kawaguchi Y, Kanda T, Ishikawa T, Sakamoto K, Akaike H, Fujii H, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Cervical lymph node dissection for clinically submucosal carcinoma of the thoracic esophagus.	Ann Surg Oncol. 2013; 20:4016-21.
111	Yajima K, Kosugi S, Kano Y, Hanyu T, Ichikawa H, Ishikawa T, Nogami H, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Two-step laparoscopic surgery for a patient with synchronous double cancer of the colon and stomach accompanied by severe chronic obstructive pulmonary disease.	Case Rep Surg. 2013;

112	Kaoru Sakamoto, Tatsuo Kanda, Takeo Bamba, Hiroyuki Funaoka, Shin-ichi Kosugi, Kazuhito Yajima, Takashi Ishikawa	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Serum Intestinal Fatty Acid Binding Protein in Patients with Small Bowel Obstruction	Surgical Science. 2013; 4:302-307.
113	Ichikawa H, Kanda T, Kosugi S, Kawachi Y, Sasaki H, Wakai T, Kondo T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Laser microdissection and two-dimensional difference gel electrophoresis reveal the role of a novel macrophage-capping protein in lymph node metastasis in gastric cancer.	J Proteome Res. 2013; 12:3780-91.
114	Okamura T, Kanda T, Hirota S, Nishimura A, Kawahara M, Nikkuni K.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Imatinib therapy for a patient with metastasis of colonic gastrointestinal stromal tumor: report of a case.	Clin J Gastroenterol. 2013; 6:116-121.
115	Okamura T, Kawachi Y, Nikkuni K, Nishimura A, Makino S, Kawahara M, Kitami C, Hashimoto Y.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	A case of hyperammonemic encephalopathy related to 5-FU in an aged patient with recurrent colon cancer treated with FOLFIRI therapy.	Gan To Kagaku Ryoho. 2013; 40:671-3.
116	Tanaka R, Kosugi SI, Sakamoto K, Yajima K, Ishikawa T, Kanda T, Wakai T.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Treatment for Perforated Gastric Ulcer: a Multi-institutional Retrospective Review.	J Gastrointest Surg 2013;17(12):2074-81.
117	Ohashi T, Wakai T, Kubota M, Matsuda Y, Arai Y, Ohyama T, Nakaya K, Okuyama N, Sakata J, Shirai Y, Ajioka Y.	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Risk of subsequent biliary malignancy in patients undergoing cyst excision for congenital choledochal cysts.	J Gastroenterol Hepatol. 2013, 28(2): 243-7.
118	Kano Y,□	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Gastrectomy for a patient with advanced gastric cancer with spleen metastases following induction chemotherapy with S-1 plus cisplatin	Gan To Kagaku Ryoho. 2014 Feb;41(2):249-52

119	Okabe Y, Yajima K, Ishikawa T, Kosugi S, Sakamoto K, Sato Y, Kanda T, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Urgent gastrectomy in a patient who developed perforated gastric cancer during preoperative chemotherapy with S-1 plus cisplatin	Gan To Kagaku Ryoho. 2014 Jan;41(1):95-8.
120	Manba N, Koyama Y, Kosugi S, Ishikawa T, Ichikawa H, Minagawa M, Kobayashi T, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Is early enteral nutrition initiated within 24 hours better for the postoperative course in esophageal cancer surgery?	J Clin Med Res. 2014 Feb;6(1):53-8
121	Terumoto Koike, Teruaki Koike, Katsuo Yoshiya, Masanori Tsuchida, Shin-ichi Toyabe	呼吸器外科(第二外科)	Risk factor analysis of locoregional recurrence after sublobar resection in patients with clinical stage IA non-small cell lung cancer	Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 146(2): 372-378, 2013
122	Shuichi Shiraishi, Masashi Takahashi, Maya Watanabe, Masanori Tsuchida	心臓血管外科(第二外科)	Fontan completion after external stenting of the left bronchus and intrapulmonary artery septation for left pulmonary artery hypoplasia	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 16(5): 698-700, 2013
123	Chizuo Kikuchi, Fuyuki Asami, Kazuhiko Hanzawa, Masanori Tsuchida	心臓血管外科(第二外科)	Successful surgical removal of an intravenous leiomyoma extending to the right atrium 4 years after hysterectomy	European Journal of Cardio-thoracic Surgery 43(6): 1262, 2013
124	Kubota M	Department of Pediatric Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Effects of rapamycin on granulation formation in response to centrally-doubled coiled stents as a tracheal substitute.	J Pediatr Surg

小計 6件

125	Sato M	Divisions of *Gastroenterology and Hepatology, † Digestive and General Surgery and ‡ Pediatric Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, and § Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences, Niigata, Japan	P21-activated kinase-2 is a critical mediator of transforming growth factor- b-induced hepatoma cell migration.	J Gastroenterol Hepatol
126	Matsuda Y	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	Clinical significance of cell cycle inhibitors in hepatocellular carcinoma.	Med Mod Morphol
127	Matsuda Y	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	DNA damage sensor γ -H2AX is increased in preneoplastic lesions of hepatocellular carcinoma.	Scientific World Journal epub ahead
128	Matsuda Y	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	Mycotoxins are onventional and novel risk biomarkers for hepatocellular carcinoma.	World J Gastroenterol
129	Fujikawa H1,2 ,Fujimoto A1,2 ,Farooq M2 ,Ito M1 ,Shimomura Y2.	1)Division of Dermatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan (2)Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Characterization of the human hair shaft cuticle-specific keratin-associated protein 10 family.	J Invest Dermatol. 2013 Dec; 133(12):2780-82
130	Orime M1,2 ,Ushiki T2 ,Koga D2 ,Ito M1	1)Division of Dermatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan (2)Division of Microscopic Anatomy, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Three-dimensional morphology of touch domes in human hairy skin by correlative light and scanning electron microscopy.	J Invest Dermatol. 2013 Aug; 133(8):2108-11

131	Takahashi K, Saito K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	ABO-incompatible kidney transplantation.	Transplantation Reviews. 2013 Jan;27(1):1-8.
132	Hara N, Mizusawa T, Obara K, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	The role of naftopidil in the management of benign prostatic hyperplasia.	Therapeutic Advances in Urology. 2013 Apr;5(2):111-9.
133	Nishiyama T.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Serum testosterone levels after medical or surgical androgen deprivation: A comprehensive review of the literature.	Urologic Oncology. 2014 Jan;32(1):38.
134	Takahashi K, Uchida K, Yoshimura N, Takahara S, Teraoka S, Teshima R, Cornu-Artis C, Kobayashi E.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Efficacy and safety of concentration- controlled everolimus with reduced-dose cyclosporine in Japanese de novo renal transplant patients: 12-month results.	Transplantation Research. 2013 Jul 16;2(1):14.
135	Arai K, Nishiyama T, Hara N, Kasahara T, Saito K, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Retroperitoneoscopic donor nephrectomy with a gel-sealed hand assist access device.	BMC Urology. 2013 Feb 2;13:7.
136	Saito K, Takahara S, Nakagawa Y, Yagisawa T, Mieno MN, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Obstacles of non-heart-beating donor kidney transplantation in Japan to date and future perspectives.	Transplantation Proceedings. 2013 Oct;45(8):2866- 70.

137	Hara N, Ishizaki F, Saito T, Nishiyama T, Kawasaki T, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Decrease in lean body mass in men with prostate cancer receiving androgen deprivation therapy: mechanism and biomarkers.	Urology. 2013 Feb;81(2):376-80.
138	Hara N, Saito H, Takahashi K, Takeda M.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Lower urinary tract symptoms in patients with Niigata Minamata disease: a case-control study 50 years after methyl mercury pollution.	International Journal of Urology. 2013 Jun;20(6):610-5.
139	Ishizaki F, Nishiyama T, Kawasaki T, Miyashiro Y, Hara N, Takizawa I, Naito M, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Androgen deprivation promotes intratumoral synthesis of dihydrotestosterone from androgen metabolites in prostate cancer.	Scientific Reports. 2013;3:1528.
140	Tasaki M, Saito K, Nakagawa Y, Ikeda M, Imai N, Ito Y, Narita I, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	20-year analysis of kidney transplantation: A single center in Japan.	Transplantation Proceedings. 2014 Mar;46(2):437-41.
141	Tasaki M, Saito K, Nakagawa Y, Ikeda M, Imai N, Narita I, Takahashi K.	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Effect of donor-recipient age difference on long-term graft survival in living kidney transplantation.	International Urology and Nephrology. 2014 Jul;46(7):1441-6.
142	Ishii M, Seki M, Harigai R, Abe H, Fukuchi T.	Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduated School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachi, Niigata, 951-8510, Japan.	Reading performance in patients with glaucoma evaluated using the MNREAD charts.	Japanese Journal Ophthalmology. 57(5):471-4, 2013

143	Fukuchi T, Yoshino T, Sawada H, Seki M, Togano T, Tanaka T, Ueda J, Abe H.	Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduated School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Niigata, Japan.	The relationship between the mean deviation slope and follow-up intraocular pressure in open-angle glaucoma patients.	Journal of Glaucoma. 22(9):689-97, 2013
144	Yoshino T, Fukuchi T, Togano T, Seki M, Ikegaki H, Abe H.	Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduated School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachi-dori, Niigata, Japan.	Eyelid and eyelash changes due to prostaglandin analog therapy in unilateral treatment cases.	Japanese Journal Ophthalmology. 57(2):172-8, 2013
145	Ishii M, Seki M, Harigai R, Abe H, Fukuchi T.	Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduated School of Medical and Dental Sciences, Niigata University.	Comparison between binocular and monocular reading ability and its relation with central visual field sensitivity in glaucoma patients.	Nihon Ganka Gakkai Zasshi. 117(11):925-30, 2013
146	Fukuchi T.	Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduated School of Medical and Dental Sciences, Niigata University.	Current trend of glaucoma medication with various eye drops.	Nihon Ganka Gakkai Zasshi. 117(10):781-3, 2013
147	Sawaguchi H, Yoshino T, Fukuchi T, Abe H.	Department of Ophthalmology, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan.	Assessment of the vision-specific quality of life using clustered visual field in glaucoma patients.	Journal of Glaucoma. 23(2):81-7, 2014
148	Hiroshi Matsuyama	Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery, Niigata University, Faculty of Medicine	Small cell carcinoma of the head and neck: report of three cases	The Journal of Laryngology & Otology
149	Yutaka Yamamoto, Kuniyuki Takahashi, Yuka Morita, Sugata Takahashi	Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery, Niigata University Faculty of Medicine	Clinical behavior and pathogenesis of secondary acquired cholesteatoma with a tympanic membrane perforation	Acta Oto- laryngologica 133: 1035-1039. 2013.

小計 7件

150	Yutaka Yamamoto, Kuniyuki Takahashi, Yuka Morita, Shinsuke Ohshima Sugata Takahashi	Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery, Niigata University Faculty of Medicine	Can the pathogenesis of auditory ossicular malformations be explained by the branchial-based theory? - Evaluation by the consecutive distribution of embryologic foci in 87 cases -	Otology & Neurotology 35: 449-458. 2014.
151	Yutaka Yamamoto, Kuniyuki Takahashi, Yuka Morita, Shinsuke Ohshima Sugata Takahashi	Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery, Niigata University Faculty of Medicine	Long-term follow-up results of canal wall down tympanoplasty with mastoid obliteration using the bone pate plate for canal wall reconstruction in cholesteatoma surgery	Otology & Neurotology 335:961-965. 2014.
152	Inagawa S, Yamashita S, Hiramatsu H, Kamiya M, Tanaka T, Sakahara H, Aoyama H	Department of Radiology, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan; Department of Radiology, and Department of Neurosurgery, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan; Department of Neurological Surgery, Seirei Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan	Clinical results after the multidisciplinary treatment of spinal arteriovenous fistulas	Jpn J Radiol. 2013;31(7):455-64.
153	Petrenko AB, Yamakura T, Ishii H, Baba H	麻醉科学分野	Defining the role of NMDA receptors in anesthesia: Are we there yet?	Eur J Pharmacol 723:29-37, 2014
154	Yoshida T, Fujiwara T, Furutani K, Ohashi N, Baba H	麻醉科	Effects of ropivacaine concentration on the spread of sensory block produced by continuous thoracic paravertebral block: a prospective, randomised, controlled, double-blind study	Anaesthesia 69(3):231-9, 2014
155	Okazuka K, Masuko M, Matsuo Y, Miyakoshi S, Tanaka T, Kozakai T, Kobayashi H, Fuse K, Shibasaki Y, Moriyama M, Takizawa J, Fuse I, Toba K, Furukawa T.	血液内科、高密度無菌治療部	Successful treatment of severe newly diagnosed immune thrombocytopenia involving an alveolar hemorrhage with combination therapy consisting of romiplostim, rituximab and vincristine.	Internal Medicine 2013;52(11):1239-42.

156	Hiroyasu Sasahara,* Kentarō Sugiyama,† Mahoto Tsukaguchi,* Kazuya Isogai,* Akira Toyama,* Hiroshi Satoh,* Kazuhide Saitoh, ‡ Yuki Nakagawa,‡ Kota Takahashi, ‡ Sachiko Tanaka,† Kenji Onda,† and Toshihiko Hirano†	*Division of Pharmacy, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan † Department of Clinical Pharmacology, School of Pharmacy, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, Hachioji, Japan ‡Division of Urology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Niigata, Japan	Comparison of the Pharmacological Efficacies of Immunosuppressive Drugs Evaluated by the ATP Production and Mitochondrial Activity in Human Lymphocytes	Cell Medicine
157	Takeyoshi Eda, Makoto Mizuno, Kazuaki Araki, Yuriko Iwakura, Hisaaki Namba, Hidekazu Sotoyama, Akiyoshi Kakita, Hitoshi Takahashi, Hiroshi Satoh, Siu-Yuen Chan, Hiroyuki Nawa	医歯学総合病院薬剤部	Neurobehavioral deficits of epidermal growth factor-overexpressing transgenic mice: impact on dopamine metabolism.	Neuroscience Letter
158	Kobayashi T, Funayama A, Hasebe D, Kato Y, Yoshizawa M, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Course for Oral Life Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Changes in overnight arterial oxygen saturation after mandibular setback.	Br J Oral Maxillofac Surg 51(4): 312-318, 2013.

小計 3件

159	Yoshizawa M, Koyama T, Izumi N, Niimi K, Ono Y, Ajima H, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Course for Oral Life Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences; Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Course for Oral Life Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences; Division of Oral Science for Health Promotion, Department of Oral Health and Welfare, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Autotransplantation or replantation of cryopreserved teeth: a case series and literature review.	Dental Traumatol 30(1): 71-75, 2013.
160	Tsuneki M, Maruyama S, Yamazaki M, Abe T, Adeola HA, Cheng J, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T, Takagi R, Funayama A, Saito C, Saku T	Division of Oral Pathology, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata; Fellow, the Japan Society for the Promotion of Science, Tokyo; Oral Pathology Section, Department of Surgical Pathology, Niigata University Hospital, Niigata; Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata; Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata; Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region	Inflammatory histopathogenesis of nasopalatine duct cyst: a clinicopathological study of 41 cases.	Oral Dis 19(4): 415-424, 2013.

小計 2件

161	Kojima T, Hasegawa T, Freitas PHL, Yamamoto T, Sasaki M, Horiuchi K, Hongo H, Yamada T, Sakagami N, Saito N, Yoshizawa M, Kobayashi T, Maeda T, Saito C, Amizuka N	Divisions of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Divisions of Oral Anatomy, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Department of Developmental Biology of Hard Tissue, Graduate School of Dental Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan, Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Dr. Mário Gatti City Hospital, Campinas, Brazil, Department of Orthopaedic Surgery, Keio University, School of Medicine, Tokyo, Japan	Histochemical aspects of the vascular invasion at the erosion zone of the epiphyseal cartilage in MMP-9-deficient mice.	Biomed Res 34: 119-128, 2013.
162	Shingaki S, Kanemaru S, Oda Y, Niimi K, Mikami T, Funayama A, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Distant metastasis and survival of adenoid cystic carcinoma after definitive treatment.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 2013.

小計 2件

163	Nagata M, Noman AA, Suzuki K, Kurita H, Ohnishi M, Ohyama T, Kitamura N, Kobayashi T, Uematsu K, Takahashi K, Kodama N, Kawase T, Hoshina H, Ikeda N, Shingaki S, Takagi R	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Department of Gastroenterology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine, Division of Dental Clinic and Oral Surgery, Nagaoka Red Cross Hospital, Department of Medical Informatics, Niigata University Medical & Dental Hospital, Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kyoto University Graduate School of Medicine, Division of Oral Bioengineering, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Niigata University Graduate School of Medical and	ITGA3 and ITGB4 expression biomarkers estimate the risks of locoregional and hematogenous dissemination of oral squamous cell carcinoma.	BMC Cancer 13: 410, 2013.
-----	---	---	---	--------------------------------------

小計 1件

164	Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Essa A, Babkair H, Mikami T, Shingaki S, Kobayashi T, Hayashi T, Cheng J, Saku T	Oral Pathology Section, Department of Surgical Pathology, Niigata University Hospital, Division of Oral Pathology, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Intramuscular keratocyst as a soft tissue counterpart of keratocystic odontogenic tumor: differential diagnosis by immunohistochemistry.	Hum Pathol 45(1): 110-118, 2014.
165	Horimizu M, Kawase T, Nakajima Y, Okuda K, Nagata M, Wolff LF, Yoshie H	Division of Oral Bioengineering, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Division of Periodontology, Department of Developmental and Surgical Sciences, University of Minnesota School of Dentistry,	An improved freeze-dried PRP-coated biodegradable material suitable for connective tissue regenerative therapy.	Cryobiology. 66(3): 223-232, 2013.

166	Horimizu M, Kawase T, Tanaka T, Okuda K, Nagata M, Burns DM, Yoshie H	Division of Oral Bioengineering, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Department of Materials Science and Technology, Niigata University, 950-2181, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Midwest Biomedical Research Foundation, Research Service, Department of Veterans Affairs Medical Center, 1601 Killebrew Dr, St. Louis, MO 63104, USA	Biomechanical evaluation by AFM of cultured human cell-multilayered periosteal sheets	Micron. 48: 1- 10, 2013.
167	Katsumi Y, Tanaka R, Hayashi T, Koga T, Takagi R, Ohshima H	Division of Anatomy and Cell Biology of the Hard Tissue, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Division of Maxillofacial Radiology, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Koga Techno Garden Dental Clinic, Chiba, Japan	Variation in arterial supply to the floor of the mouth and assessment of relative hemorrhage risk in implant surgery	Clin Oral Implants Res. 24(4): 434-440, 2013.

168	Katsuragi Y, Anraku J, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Obata M, Mishima Y, Sakuraba Y, Gondo Y, Kodama Y, Nishikawa A, Takagi R, Ohshima H, Kominami R	Division of Molecular Biology, Department of Molecular Genetics, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Course for Oral Life Science, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan, Division of Anatomy and Cell Biology of the Hard Tissue, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan, Mutagenesis and Genomics Team, RIKEN BioResource Center, Japan	Bcl11b transcription factor plays a role in the maintenance of the ameloblast- progenitors in mouse adult maxillary incisors	Mech Dev. 130(9-10): 482- 492, 2013.
169	Kodama Y, Tanaka R, Kurokawa A, Ohnuki H, Sultana S, Hayashi T, Iizuka T, Takagi R	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Department of Cranio- Maxillofacial Surgery, University Hospital of Bern, Bern, Switzerland, Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Severe destruction of the temporomandibular joint with complete resorption of the condyle associated with synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, and osteitis syndrome	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 116(2): e128-133, 2013.

170	Nagata M, Noman AA, Suzuki K, Kurita H, Ohnishi M, Ohyama T, Kitamura N, Kobayashi T, Uematsu K, Takahashi K, Kodama N, Kawase T, Hoshina H, Ikeda N, Shingaki S, Takagi R	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan, Department of Gastroenterology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan, Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine, Japan, Division of Dental Clinic and Oral Surgery, Nagaoka Red Cross Hospital, Japan, Department of Medical Informatics, Niigata University Medical & Dental Hospital, Japan, Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kyoto University Graduate School of Medicine, Japan, Division of Oral Bioengineering, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Niigata	ITGA3 and ITGB4 expression biomarkers estimate the risks of locoregional and hematogenous dissemination of oral squamous cell carcinoma.	BMC Cancer.13: 410, 2013.
-----	---	---	---	--------------------------------------

小計 1件

171	Okuda K, Kawase T, Nagata M, Yamamiya K, Nakata K, Wolff LF, Yoshie H	Department of Oral Biological Science, Division of Periodontology, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Division of Oral Bioengineering, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Department of Oral Health Science, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan, Bioscience Medical Research Center, Niigata university Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan, Department of Developmental and Surgical Sciences, Division of Periodontology, Niigata University, Niigata, Japan	Tissue-engineered cultured periosteum sheet application to treat infrabony defects: case series and 5-year results.	Int J Periodontics Restorative Dent. 33(3): 281- 287, 2013.
172	Saito T, Izumi K, Shiomi A, Uenoyama A, Ohnuki H, Kato H, Terada M, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Takagi R, Maeda T	Division of Oral Anatomy, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Department of Oral and Maxillofacial Surgery, University of Michigan, Ann Arbor, MI, USA	Zoledronic acid impairs re- epithelialization through down- regulation of α V β 6 integrin and TGF- beta signaling in a 3D in vitro wound healing model	Int J Oral Maxillofac Surg. 43(3): 373-380, 2013.

小計 2件

173	Uematsu K, Nagata M, Kawase T, Suzuki K, Takagi R	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Division of Oral Bioengineering, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Department of Gastroenterology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Application of stem-cell media to explant culture of human periosteum: An optimal approach for preparing osteogenic cell material.	J Tissue Eng. 2013 Oct 23;4:204173141 3509646. doi: 10.1177/2041731 413509646. eCollection 2013.
174	Yamazaki M, Maruyama S, Ab é T, Babkair H, Fujita H, Takagi R, Koyama J, Hayashi T, Cheng J, Saku T	Division of Oral Pathology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Oral Pathology Section, Department of Surgical Pathology, Niigata University Hospital, Niigata, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Hybrid ameloblastoma and adenomatoid odontogenic tumor: report of a case and review of hybrid variations in the literature	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2014 Jul;118(1):e12-8. doi: 10.1016/j.oooo.20 13.08.032. Epub 2013 Nov 23.

小計 2件

175	Kudo K, Takagi R, Kodama Y, Terao E, Asahito K, Saito I	Division of Orthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan, Speech Clinic of Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan	Evaluation of speech and morphological changes after maxillary advancement for patients with velopharyngeal insufficiency due to repaired cleft palate using a nasometer and lateral cephalogram	Journal of oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology. 26: 22-27, 2014.
176	Nishikawa T, Okamoto K, Matsuzawa H, Terumitsu M, Nakada T, Fujii Y	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata, Niigata, Japan	Detectability of Neural Tracts and Nuclei in the Brainstem Utilizing 3DAC-PROPELLER.	J Neuroimaging
177	Hayasaki H, Saitoh I, Nakakura-Ohshima K, Hanasaki M, Nogami Y, Nakajima T, Inada E, Iwasaki T, Iwase Y, Sawami T, Kawasaki K, Murakami N, Murakami T, Kurosawa M, Kimi M, Kagoshima A, Souda M, Yamasaki Y	Department of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Department of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University,	Tooth brushing for oral prophylaxis	Japanese Dental Science Review, 50:69-77, 2014.
178	Tosaka Y, Nakakura-Ohshima K, Murakami N, Ishii R, Saitoh I, Iwase Y, Yoshihara A, Ohuchi A, Hayasaki H	Department of Oral Health and Welfare, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Department of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Tokyo Metropolitan Center for Oral Health of Persons with Disabilities	Analysis of tooth brushing cycles	Clinical Oral Investigations 2014 Jan 14. [Epub ahead of print]

179	Mitomi T, Kawano Y, Kinoshita- Kawano S	Pediatric Dentistry, Oral Anatomy	Effect of the antineoplastic agent busulfan on rat molar root development	Archives of Oral Biology 59: 47- 59, 2014
180	Tomoya Murakami,* Issei Saitoh,* Emi Inada,† Mie Kurosawa,* Yoko Iwase,* Hirofumi Noguchi,‡ Yutaka Terao,§ Youichi Yamasaki,† Haruaki Hayasaki,* and Masahiro Sato¶	*Division of Pediatric Dentistry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan†Department of Pediatric Dentistry, Kagashima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima, Japan‡Department of Gastroenterological Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan§Division of Microbiology and Infectious Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan¶ Section of Gene Expression Regulation, Frontier Science Research Center, Kagoshima University, Kagoshima, Japan	STO Feeder Cells Are Useful for Propagation of Primarily Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells by Eliminating Contaminating Bacteria and Promoting Cellular Outgrowth	Cell Medicine, 6 (1-2): 75-81, 2013
181	Ahsan A, Yamaki M, Hirotomi T, Hossain Z, Saito I	矯正歯科	DAI scores and it's relation to self- perceived dental aesthetic and orthodontic concern in Bangladesh and Japan.	Orthod Waves72(3):99- 104, 2013.
182	Takahashi K, Shingai T, Saito I, Yamamura K, Yamada Y, Kitagawa J	矯正歯科	Facilitation of the swallowing reflex with bilateral afferent input from the superior laryngeal nerve.	Neurosci lett562:50-53, 2014.
183	Kudo K, Takagi R, Kodama Y, Terao E, Asahito T, Saito I	矯正歯科	Evaluation of speech and morphological changes after maxillary advancement for patients with velopharyngeal insufficiency due to repaired cleft palate using a nasometer and lateral cephalogram.	1) J Oral Maxillofac Surg Med Path 26(1):22-27, 2014.

184	Kalajzic Z, Peluso EB, Utreja A, Dyment N, Nihara J, Xu M, Chen J, Uribe F, Wadhwa S.	矯正歯科	Effect of cyclical forces on the periodontal ligament and alveolar bone remodeling during orthodontic tooth movement.	Angle Orthod 84(2): 297-303, 2014.
185	Ahsan A, Yamaki M, Hossain I Z, Saito I	矯正歯科	Craniofacial cephalometric analysis of Bangladeshi and Japanese adults with normal occlusion and balanced faces: A comparative study.	1) J Orthodont Sci 2(1):7-15, 2013
186	Iwasaki M, Taylor GW, Nakamura K, Yoshihara A, Miyazaki H	予防歯科学分野	Association between low bone mineral density and clinical attachment loss in Japanese postmenopausal females	J Periodontol
187	Iwasaki M, Moynihan P, Manz MC, Taylor GW, Yoshihara A, Muramatsu K, Watanabe R, Miyazaki H	予防歯科学分野	Dietary antioxidants and periodontal disease in community-based older Japanese: A 2-year follow-up study	Public Health Nutr
188	Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Shinhara A, Muramatsu T, Kobayashi T, Narita I, Nakazono K, Murasawa A, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan. General Dentistry and Clinical Education Unit, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan. 3Niigata Rheumatic Center, Shibata, Japan 4Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Department of Homeostatic Regulation Developments, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 5Institute for Innovation, Ajinomoto Co., Inc., Kawasaki, Japan	Amino acid profiles in relation to chronic periodontitis and rheumatoid arthritis	Open Journal of Stomatology 4(2): 49-55, 2014

189	Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Ishida K, Kojima A, Narita I, Murasawa A, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Assessment of Interleukin-6 Receptor Inhibition Therapy on Periodontal Condition in Patients with Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis	J Periodontol 85(1): 57-67, 2014
190	Yokoyama T, Kobayashi T, Ito S, Yamagata A, Ishida K, Okada M, Oofusa K, Murasawa A, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Comparative Analysis of Serum Proteins in Relation to Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis	J Periodontol 85(1): 103-112, 2014
191	Kawase T, Uematsu K, Kamiya M, Nagata M, Okuda K, Burns DM, Nakata K, Yoshie H	Division of Oral Bioengineering, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan. Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan. Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan. Division of Periodontology, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan. Midwest Biomedical Research Foundation, Research Service, Department of Veterans Affairs Medical Center, Kansas City, Missouri, USA. Bioscience Medical Research Center, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan.	Real-time quantitative PCR and flow-cytometric analyses of cell adhesion molecules expressed in human cell-multilayered periosteal sheets in vitro	Cytotherapy 16(5): 653-61, 2014
192	Horimizu M, Kawase T, Nakajima Y, Okuda K, Nagata M, LF. Wolff, Yoshie H	Division of Oral Bioengineering, Department of Tissue Regeneration and Reconstitution, Institute of Medicine and Dentistry, Niigata University, Niigata, Japan	An improved freeze-dried PRP-coated biodegradable material suitable for connective tissue regenerative therapy	Cryobiology 66(3): 223-232, 2013

193	Rocabado JMR, Kaku M, Kitami M, Akiba Y, Uoshima K	Division of Bio-Prosthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Osteoblastic Differentiation and Mineralization Ability of periosteum-Derived Cells Compared With Bone Marrow and Calvaria-Derived Cells.	J Oral Maxillofac Surg. 72(4):694.e1-9, 2014
194	Kaku M, Rocabado JMR, Kitami M, Ida T, Uoshima K	Division of Bio-Prosthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Royal jelly affects collagen crosslinking in bone of ovariectomized rats.	J Functional Foods, 7: 398-406, 2014
195	Angelova Volponi A, Kawasaki M, Sharpe PT	Division of Bio-Prosthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Department of Craniofacial Development and Stem Cell Biology, Dental Institute, King's College London	Adult Human Gingival Epithelial Cells as a Source for Whole-tooth Bioengineering.	J Dent Res, 92(4):329-34, 2013
196	Khonsari RH, Ohazama A, Raouf R, Kawasaki M, Kawasaki K, Porntaveetus T, Ghafoor S, Hammond P, Suttie M, Odri GA, Sandford RN, Wood JN, Sharpe PT	Division of Bio-Prosthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Department of Craniofacial Development and Stem Cell Biology, Dental Institute, King's College London,	Multiple postnatal craniofacial anomalies are characterized by conditional loss of polycystic kidney disease 2 (Pkd2)	Hum Mol Genet, 22(9):1873-85, 2013
197	Katsumi Y, Tanaka R, Hayashi T, Koga T, Takagi R, Ohshima H	Division of Anatomy and Cell Biology of the Hard Tissue, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Variation in arterial supply to the floor of the mouth and assessment of relative hemorrhage risk in implant surgery	Clinical Oral Implants Resresearch

小計 5件
合計197
件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合には、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り)。

- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Sato A, Chinushi M, Izumi D, Furushima H, Minamino T.	循環器内科	ここまでのテクニックとテクノロジー 『不整脈症候群の診断的アプローチ法としての遺伝子解析』	雑誌:循環器内科 2013;73:514-525.
2	渡部 裕	循環器内科	不整脈症候群ならびに心臓電気生理学における遺伝学研究の進歩.	血管 2013;36: 63-68.
3	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	【イオンチャネル病のすべて】早期再分極症候群の臨床的特徴と原因遺伝子	医学のあゆみ 2013;245:790-79.
4	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	早期再分極症候群の特徴	最新医学 2013; 68:422-428.
5	鳥羽 健, 塙 晴雄	循環器内科	鉄代謝と疾患の関わりを理解する 5) 心血管障害	MEDICAL TECHNOLOGY 2013;41:969-973.
6	小幡 裕明, 南 野 徹	循環器内科	1. 薬物治療Up to date	日本内科学会雑誌 特集:心筋症: 診断と治療の進歩 2013;103.
7	小幡 裕明	循環器内科	肺動脈性肺高血圧の鑑別	Heart View 肺高 血圧を制圧する 2013;17:700-707.
8	若杉 嵩幸, 小 幡 裕明, 大槻 総, 柏村 健, 塙 晴雄, 南野 徹	循環器内科	僧帽弁閉鎖不全症に伴う重度のout of proportion PHが弁形成術後に正常化した一例	Therapeutic research 2013; 34:1001-1003.
9	南野 徹	循環器内科	Non-dipperと血管老化	月刊循環器 CIRCULATION 2013;3:75-81.
10	森谷 純治, 南 野 徹	循環器内科	次世代の血管新生療法開発の展望	日本臨床増刊号 「血管炎」 2013; 71:477-481.
11	森谷 純治, 南 野 徹	循環器内科	パージャール病に対する血管新生療法	日本臨床増刊号 「血管炎」 2013; 71:195-202.

小計 11件

12	森谷 純治, 南野 徹	循環器内科	【重症下肢虚血に対する治療】重症下肢虚血に対する血管再生治療の現状	月刊【心臓】 2013;45:29-32.
13	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	脂肪と心・血管連関	実験医学増刊号 「臓器円環による恒常性の維持・変容・破綻」老化シグナルと心臓・脂肪連関 2013; 31:133-139.
14	横手幸太郎, 庄司 哲雄, 西川武志, 南野 徹	循環器内科	糖尿病大血管障害の治療戦略	Diabetes Update 2013;2:142-153.
15	藤田 敏郎, 南野 徹	循環器内科	加齢に伴い増加する疾患の発症メカニズムとARBの可能性 細胞老化の観点から	Pharma Medica 2013;3:117-120.
16	岩間 厚志, 南野 徹	循環器内科	「特集 細胞老化, 臓器老化, 組織老化」特集にあたって	アンチエイジング医学 2013;9:15.
17	中込 敦, 南野 徹	循環器内科	「特集 細胞老化, 臓器老化, 組織老化」臓器間老化シグナルと生活習慣病	アンチエイジング医学 2013;9:23-29.
18	南野 徹	循環器内科	時計遺伝子	腎・高血圧の最新治療 2013;2:50.
19	吉田 陽子, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	「臓器連関による代謝調節Up-to-Date」老化シグナルと心臓・神経・脂肪連関	血管医学 2013; 14:29-36.
20	森谷 純治, 南野 徹	循環器内科	「血管新生の医学」血管の老化と血管新生	BIO Clinica 2013;4:29-34.
21	南野 徹	循環器内科	心不全におけるインスリンシグナルの重要性	Medical View Point 2013;34:3.
22	南野 徹	循環器内科	心血管時計とアンチエイジング	アンチエイジング医学 2013;9:27-33.
23	横山 真隆, 南野 徹	循環器内科	血管内皮の老化と生活習慣病	内分泌・糖尿病・代謝内科 2013; 37:156-164.
24	南野 徹	循環器内科	地域医療からみた「知の循環」	心臓 2013;45:951.

小計 13件

25	林 由香, 南野 徹	循環器内科	特集「アンチエイジングと疾患」代謝性疾患における細胞老化の関与	Medical Science Digest 2013; 39:23-26.
26	林 由香, 須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	特集「アンチエイジング医学の最近の流れ」循環器疾患に対するアンチエイジングアプローチ	Geriatric Medicine 2013; 7:697-700.
27	南野 徹	循環器内科	巻頭言	新潟医師会報 2013;502:1
28	南野 徹	循環器内科	私の研究歴	新潟医師会報 2013;757:2-4
29	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	概 日リズム異常と老化	日本臨床 2013; 71:2091-2096.
30	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	「細胞老化と老化関連疾患」	実験医学 2013; 31:3341-3347.
31	須田 将吉, 林 由香, 南野 徹	循環器内科	「インスリンと老化のここがわからない!」	Diabetes Strategy 2013; 3:186-191.
32	須田 将吉, 林 由香, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	「老化関連疾患における臓器間ネットワーク」	BIO Clinica 2013;28:1208-1212.
33	南野 徹	循環器内科	老化からみた生活習慣病	柏崎医師会報 2013;5:7-12.
34	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	「糖尿病のここがわからないシリーズ」インスリンと老化のここがわからない	Diabetes Strategy 2013; 3:186-191.
35	須田 将吉, 林 由香, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	血管老化におけるARBの新展開	Anti-aging Science 2013;5: 257-261.
36	南野 徹	循環器内科	老化からみた循環代謝制御	熊谷医師会報 2013;566・567合併号:5-12.
37	南野 徹	循環器内科	エンドセリンと私の研究歴	呼吸と循環 2013;61:1089.

小計 13件

38	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	中枢によるインスリン感受性制御—BDNFを中心に	内分泌・糖尿病・代謝内科 2013; 37:25-32.
39	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	特集「代謝内分泌神経ネットワーク」各論老化関連疾患における臓器間ネットワーク	BIO Clinica 2013; 28: 1308-1312.
40	南野 徹	循環器内科	「編集委員に聞く 日本の知恵を探る(21) —汁三菜」	Anti-aging Medicine 2013; 9:90.
41	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	糖尿病が心不全にどのように影響するのか？	Heart View 2013; 18
42	佐藤 光希, 和泉 大輔, 渡部 裕, 柏村 健, 古嶋 博司, 南野 徹	循環器内科	低侵襲血行動態モニタリングを用いた心臓再同期療法の効果判定ならびに治療設定最適化についての研究(解説)	新潟県医師会報 2013; 764: 11-13.
43	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	「致死性不整脈診療の最前線」致死性不整脈診療	最新医学 2013; 68:1605-1610.
44	佐藤 光希, 南野 徹	循環器内科	【不整脈の診断と治療:ここまでのテクニックとテクノロジー】不整脈症候群の診断的アプローチ法としての遺伝子解析(解説/特集)	循環器内科 2013; 73: 514-525.
45	竹内 学	第三内科	【日本食道学会拡大内視鏡分類】日本食道学会拡大内視鏡分類と深達度 深達度診断におけるB2血管の意義	胃と腸(0536-2180)49巻2号 Page164-172(2014.02)
46	上村 博輝	第三内科	消化器癌に対する腹水濾過濃縮再静注療法(CART)のQOLと抗腫瘍効果に対する再評価	新潟県医師会報 (0912-2796)764号 Page8-10(2013.11)
47	小林 正明	第三内科	【IIB診断を極める】0-IIB胃癌・随伴IIBによる断端陽性を防ぐコツ NBI拡大内視鏡を中心に	消化器内視鏡 (0915-3217)25巻10号 Page1713-1718(2013.10)

小計 10件

48	坂牧 僚	第三内科	食道壁内偽憩室症の1例	Gastroenterological Endoscopy(0387-1207)55巻10号 Page3368-3374(2013.10)
49	橋本 哲	第三内科	【食道表在癌治療の最先端】食道亜全周・全周ESD後の狭窄予防 ステロイド局注の立場から	胃と腸(0536-2180)48巻9号 Page1303-1309(2013.08)
50	小林 正明	第三内科	【胃癌の時代的変遷と将来展望】H.pylori除菌後に発見された早期胃癌の内視鏡像	消化器内科(1884-2895)56巻4号 Page396-401(2013.04)
51	橋本 哲	第三内科	["鎮静"をマスターする]治療内視鏡 ESDにおける鎮静 ベンゾジアゼピン系+非麻薬系鎮痛薬派	消化器内視鏡(0915-3217)25巻4号 Page571-575(2013.04)
52	安部弘子	新潟大学医学部精神医学教室	新潟大学医歯学総合病院精神科における短期介入型多職種連携心理教育プログラムの実際・急性期統合失調症患者の病識獲得と服薬アドヒアランスおよび栄養管理能力の向上を目指した取り組み・	臨床精神医学 42(12): 1555-1562, 2013.
53	茂木崇治	新潟大学医学部精神医学教室	新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センターに入院した自殺企図患者の実態調査.	新潟医学会雑誌 127(8): 417-421, 2013.
54	長谷川聡, 小澤淳一, 渡辺健一, 鳥越司, 羽二生尚訓, 沼野藤人, 鈴木博, 廣川徹, 内山聖.	新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野	大動脈閉鎖不全と診断されていた大動脈左室トンネルの2例	日本小児科学会雑誌 2013; 117: 1469-1473
55	小山 諭, 若井俊文.	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	小児の誤嚥性肺炎.	小児外科 2013;45(12):1330-1333.

56	若井俊文	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	総説 胆嚢癌診療の最前線 Frontline in the management of gallbladder cancer	日本消化器病学会雑誌 110(8): 1392-1399, 2013.
57	小林 隆, 大矢洋, 佐藤 好信, 山本 智, 小海 秀央, 佐藤 優, 下田 傑, 三浦 宏平, 齋藤 敬太, 八木 亮磨, 畠山 勝義, 若井 俊文	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	抗体関連型拒絶反応の克服に向けて 肝移植における既存抗体陽性例	今日の移植 26巻 2号 182-187
58	坂田純, 若井俊文, 井上真, 大橋拓, 白井良夫	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	Stage III・IV胆道癌の外科治療: 自験例の遠隔成績に基づく検討	癌の臨床 2013;59(1):21-6
59	中野雅人, 岡本春彦, 岡村拓磨, 小野一之, 田宮洋一	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	肝ガス壊疽による播種性血管内凝固症候群、多臓器不全から救命し得た1例	日本消化器外科学会雑誌・46巻・6号・416-423
60	番場竹生、須田武保、寺島哲郎、赤澤宏平、佐藤聡、土田智子、中村直樹	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	消化器外科術後感染症に対する術前口腔ケアの効果に関する検討	新潟医学会雑誌 2013; 127: 6: 309-17
61	岡村 拓磨、蛭川 浩史、武居祐紀、佐藤 洋樹、多田 哲也	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	単孔式腹腔鏡補助下根治術を施行した若年女性のS状結腸軸捻転症の1例	新潟医学会雑誌. 2013; 127:439-42.
62	若井 淳宏	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	肺癌化学放射線療法後の食道表在癌の2例	日本臨床外科学会雑誌 74 (6), 1483-1487. 2013
63	細井 愛、黒崎功、高野可赴、皆川昌広、岩淵三哉、若井俊文	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	原発性多発十二指腸癌を含む異時性4重複癌の1例	日本臨床外科学会雑誌2014; 75: 250-254

小計 8件

64	廣瀬雄己・坂田純・大橋 拓・滝沢一泰・新田正和・高野可赴・小林 隆・野上仁・皆川昌広・小杉伸一・小山 諭・若井俊文	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	高度局所進展を呈する肝内胆管癌に対する術前化学療法の効果	新潟医学会誌 127(8):422-426, 2013
65	宗岡悠介, 西村 淳, 牧野成人, 川原聖佳子, 北見智恵, 岡村拓磨	新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野	腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術後の会陰ヘルニアの2例	日本内視鏡外科学会雑誌. 2013; 18:549-554.
66	白石 修一, 高橋 昌, 渡邊マヤ, 大久保由華, 土田 正則	心臓血管外科(第二外科)	両側肺動脈絞扼術後に根治手術(大動脈弓再建+Rastelli手術)を施行した総動脈幹・大動脈弓離断症の1例	日本心臓血管外科学会雑誌 42(5):442-446, 2013
67	小池 輝元, 湯山 聡子, 佐藤征二郎, 橋本毅久, 土田 正則	呼吸器外科(第二外科)	間質性肺炎合併肺癌の術後急性増悪予測因子としての肺動脈圧評価	日本呼吸器外科学会雑誌 27(5): 562-568, 2013
68	佐藤征二郎, 土田 正則	呼吸器外科(第二外科)	抗GAD抗体陽性重症筋無力症合併胸腺腫の1例	日本臨床外科学会雑誌 74(8): 2101-2105, 2013
69	大久保由華, 高橋 昌, 白石 修一, 渡邊 マヤ, 土田 正則	心臓血管外科(第二外科)	大動脈肺動脈窓を合併したFallot四徴症・肺動脈閉鎖・主要大動脈肺動脈側副動脈に対し一期的修復術を施行した1例	日本心臓血管外科学会雑誌 42(4):297-301, 2013
70	窪田 正幸	新潟大学大学院小児外科	第49回日本小児外科学会学術集会ワークショップ2 手術の教育	日小外会誌
71	窪田 正幸	新潟大学大学院小児外科	手術に対する心構え	小児外科
72	1. 窪田 正幸	新潟大学大学院小児外科	急性腹症	臨床外科
73	窪田 正幸	新潟大学大学院小児外科	小児の胆道癌	小児外科

小計 10件

74	奥山 直樹	新潟大学大学院小児外科	低位鎖肛術後の便秘に対する再手術	小児外科
75	小林久美子	新潟大学大学院小児外科	NICUにおける低出生体重時の術後に郡発した遅発性創感染	低出生体重時の外科
76	仲谷 健吾	新潟大学大学院小児外科	乳児期に消化管穿孔で発症し牛乳アレルギーが疑われた1例	日小外会誌
77	折目真理	新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	ヒトの皮膚における表皮稜と真皮乳頭の立体構造解析 KOH-コラゲナーゼ法を用いた走査電子顕微鏡観察	新潟医学会雑誌 127巻9号 482-89 2013.09
78	酒井 あかり, 高塚 純子, 竹之内辰也, 斉藤 俊弘	新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	腎細胞癌発見の契機となった頭部転移性皮膚癌の2例	臨床皮膚科 67巻 13号 1083-86 2013.12
79	林 良太, 苅谷 直之, 伊藤 雅章	新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	皮膚非結核性抗酸菌症の臨床、治療の検討	皮膚科の臨床 55巻 11号 1387-92 2013.11
80	濱 菜摘, 松山 麻子, 田中 英一郎, 株本 武範, 伊藤 雅章, 後藤 一美, 河井 一浩	新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	間擦部主体の多形皮膚萎縮を呈し、病巣内に棘細胞癌を合併した菌状息肉症の1例	臨床皮膚科 67巻 6号 431-35 2013.05
81	丸山 涼子, 藤川 大基, 下村 尚子, 大越 章吾, 佐藤 信之, 伊藤 雅章	新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	慢性C型肝炎患者へのペグインターフェロンα-2bとリバビリンによる併用療法中に生じた薬疹に、シクロスポリンが奏効した1例	臨床皮膚科 67巻 6号 395-38 2013.05
82	会沢 敦子, 松山 麻子, 下村 裕, 伊藤 雅章	新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	インフリキシマブとプレドニゾロンの併用が奏効した若年発症の汎発性膿疱性乾癬の1例	臨床皮膚科 67巻 4号 317-21 2013.04
83	高橋公太	新潟大学大学院、医歯学総合研究科、腎泌尿器病態学分野	ABO血液型不適合腎移植への挑戦 免疫学的禁忌の克服と臨床応用の普及	日本医師会雑誌 141巻10号:2243-2247, 2013.

小計 10件

84	高橋公太	新潟大学大学院、医歯学総合研究科、腎泌尿器病態学分野	ABO血液型不適合腎移植への挑戦 免疫学的禁忌の克服と臨床応用の普及	日本臨床腎移植学会雑誌 1巻1号:3-16, 2013.
85	笠原隆、西山勉、黒木大生、高橋公太	新潟大学 大学院、医歯学総合研究科、生体機能調整医学専攻、機能再建医学、腎泌尿器病態学分野	褐色細胞腫に対する腹腔鏡下副腎摘除術の長期治療成績	Japanese Journal of Endourology 26巻1号:34-40, 2013.
86	中川由紀、齋藤和英、高橋公太	新潟大学大学院、医歯学総合研究科、腎泌尿器病態学分野	長期透析患者の腎移植における諸問題 長期透析患者の腎移植成績	腎移植・血管外科 24巻2号:141-147, 2013.
87	中川由紀、池田正博、田崎正行、齋藤和英、高橋公太	新潟大学 大学院、医歯学総合研究科、生体機能調整医学専攻、機能再建医学、腎泌尿器病態学分野	新しい免疫抑制薬 mTOR阻害薬とサイモグロブリン	日本腎臓学会誌 55巻2号:112-118, 2013.
88	寺島浩子、長谷部日、高田律子、佐藤弥生、上田恵理子、宗村守、佐々木亮、松岡尚気	新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻感覚統合医学講座視覚病態学分野	網膜静脈分枝閉塞症に対するBevacizumab硝子体内投与の視力予後	眼科手術26(2):289-293, 2013
89	長谷部日、高田律子、上田恵理子、宗村守、佐々木亮、松岡尚気、阿部春樹	新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻感覚統合医学講座視覚病態学分野	25ゲージ硝子体手術における3ポートの創口縫合の要因	眼科手術26(3):458-460, 2013
90	坂上悠太、堀地健郎、田中隆之、関正明、梅野哲哉、上田潤、阿部春樹	新潟大学大学院医歯学総合研究科感覚統合医学講座視覚病態学分野	トラベクトミー既往眼の白内障手術後の眼圧経過	眼科手術26(4):637-642, 2013
91	大湊純、尾山徳秀、張大行、江口功一、堀地健郎	新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野	原発性上皮型眼瞼部悪性腫瘍の切除後の再建術についての検討	臨床眼科67(8):1295-1298, 2013

小計 8件

92	本間友里恵、張替涼子、石井雅子、阿部春樹、福地健郎	新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻感覚統合医学講座視覚病態学分野	新潟大学ロービジョン外来における緑内障患者の受診状況	あたらしい眼科30(7):637-642、2013
93	森田由香、山本裕、大島伸介、高橋邦行、根本美歌、桑原優子、高橋 姿	新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科	弛緩部型真珠腫と緊張部型真珠腫(第1報)ー真珠腫進展度分類2010による病態の比較ー	Otol Jpn. 23. 113-117, 2013.
94	森田由香、山本裕、大島伸介、高橋邦行、根本美歌、桑原優子、高橋 姿	新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科	ANCA関連血管炎による難治性中耳炎の検討ー骨導閾値上昇を呈した9例16耳ー	Otol Jpn. 23. 248-255, 2013.
95	山本 裕、森田由香、高橋邦行、高橋 姿	新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野	鼓室型先天性真珠腫に対する内視鏡下手術	Otology Japan 23: 893-897. 2013.
96	山本 裕、森田由香、高橋邦行、大島伸介、高橋 姿	新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野	耳硬化症に対するアブミ骨手術再手術症例の分析	Otology Japan 23: 821-826. 2013.
97	山本 裕	新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野	耳小骨奇形の病態と連鎖再建術	日耳鼻 116: 69-76. 2013.
98	山本 裕	新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野	伝音再建法の分類と名称について	日耳鼻 116: 1248-1249. 2013.
99	山本 裕	新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野	鼓室内腫瘤性病変の診断ー鼓膜所見でどこまでわかるか?ー	耳鼻臨床 107: 76-77. 2014.
100	大橋宣子、清水大喜、生駒美穂、岡本学、河野達郎、馬場洋	麻酔科	神経障害性痛患者に対するプレガバリンの鎮痛効果と副作用ーガバペンチンから変更した症例ー	日本ペインクリニック学会誌 20(2): 111-3, 2013

小計 9件

101	本多 忠幸	新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター	【神経集中治療】呼吸管理、モニタリング 气道管理(解説/特集)	救急医学 37巻12号 Page1552-1555 2013年
102	加納浩之, 小林正治, 船山昭典, 三上俊彦, 齋藤功, 齋藤 力	新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野, 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻摂食環境制御学講座歯科矯正学分野	上下顎移動術にポリ-L-乳酸/ポリ-D-乳酸/ポリグリコール酸生体吸収性骨接合材を使用した下顎前突症患者の術後顎骨安定性.	日顎変形会誌 23(1): 8-14, 2013.
103	齋藤直朗, 芳澤享子, 小田陽平, 倉部華奈, 齋藤大輔, 新美奏恵, 鈴木一郎, 小林正治	新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野, 新潟大学医歯学総合病院地域保健医療推進部	新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科における外来および入院患者の臨床統計的観察.	新潟歯会誌 43(1): 37-42, 2013.
104	小野由起子, 芳澤享子, 船山昭典, 三上俊彦, 小林正治	新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	ラテックスと機械的刺激が誘因と考えられた舌・口底部・頰部血管浮腫の1例.	新潟歯会誌 43(2): 129-134, 2013.
105	嵐山貴徳, 高木律男, 安島久雄, 池田順行, 大貫尚志, 齋藤太郎, 林 孝文	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野, 顎顔面放射線学分野	下顎頭縦骨折-臨床統計学的検討ならび発生条件に関する考察-	日口科誌 62 (3): 215-223, 2013.
106	小山貴寛, 芳澤享子, 小野和宏, 阿部裕子, 森田修一, 高木律男	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野、組織再建口腔外科学分野、口腔保健学分野、阿部矯正歯科医院、歯科矯正学分野	永久歯の歯胚回転を行い萌出方向の改善を行った3例	日口外誌 59(11): 704-707, 2013.

小計 6件

107	寺尾恵美子, 高木律男, 大湊麗, 児玉泰光, 飯田明彦, 五十嵐友樹, 小野和宏	新潟大学医歯学総合病院・歯科診療部門言語治療室、新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野、長岡赤十字病院歯科口腔外科、新潟大学歯学部口腔生命福祉学科口腔衛生支援学講座	片側性唇顎口蓋裂児に対するHotz床併用二段階口蓋形成法の8歳までの言語成績－Furlow法による軟口蓋形成術の評価－	日口蓋誌 38(1): 104-112, 2013.
108	大貫尚志, 児玉泰光, 黒川 亮, 嵐山貴徳, 永井孝宏, 和泉大輔, 高木律男	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野、循環器学分野	下顎骨骨折の周術期にブルガダ症候群と診断された1例	日口外傷誌. 12:109-114, 2014.
109	倉田行伸、田中裕、照光真、弦巻立、金丸博子、吉川博之、小玉由記、山崎麻衣子、瀬尾憲司	新潟大学大学院 歯科麻酔学分野	末梢性三叉神経損傷における触覚閾値低下の予後判定に基準について	ペインクリニック学会雑誌
110	石井 里加子, 大島 邦子, 澤味規, 齊藤 一誠, 岩瀬 陽子, 村上望, 早崎 治明	新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野、新潟大学医歯学総合病院小児歯科障がい者歯科	ブラッシング時の歯ブラシの三次元的運動 および荷重の同時解析 -方法論について-	障害者歯科学雑誌, 34(4):653-660, 2013
111	早崎 治明, 大島邦子	新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野、新潟大学医歯学総合病院小児歯科障がい者歯科	歯磨きについて	新潟歯学会雑誌, 44(1):1-11, 2014.
112	岩瀬 陽子	新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻口腔健康科学講座小児歯科学分野	小児の咬合接触から考える顎口腔機能(総説)	小児歯科学雑誌
113	渡辺 厚, 渡邊直子, 廣富敏伸, 八巻正樹, 宮崎秀夫, 齋藤 功	矯正歯科	総合大学新入生におけるDental Aesthetic Indexと歯列に対する自己評価との関連性について.	Orthod Waves-Jpn Edit 72(2):99-105, 2013.

小計 7件

114	永井嘉洋, 西山秀昌, 丹原 惇, 田中 礼, 八巻正樹, 林 孝文, 齋藤 功	矯正歯科	顎顔面形態の評価に有用な3次元計測点の再現性に関する研究.	日骨形態誌23: S145-S155, 2013.
115	竹山雅規	矯正歯科	インプラントアンカーを併用した成人上突咬合症例.	1) Monog.Clin.Orthod.34:26-33, 2013.
116	竹山雅規	矯正歯科	下顎右側側切歯, 犬歯の癒合を伴う成人上顎前突症例.	甲北信越矯歯誌 21(1):44-44, 2013.

小計 3件
合計
116件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年13回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかなとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 産学官連携活動を含む社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の産学官連携活動等の推進を図る。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかなとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1回
・ 外部講師を招聘し、「臨床倫理の基礎と課題」と題した講演会を実施した。	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかなとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の関連医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、関連医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

2 研修の実績

研修医の人数	86人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
南野 徹	循環器内科	教授	24年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科 血液内科	教授	23年	
成田一衛	腎・膠原病内科 呼吸器・感染症内科 診療内科	教授	30年	
西澤正豊	神経内科	教授	37年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	29年	
染矢俊幸	精神科	教授	30年	
齋藤昭彦	小児科	教授	22年	
若井俊文	消化器外科 乳腺・内分泌外科	教授	21年	
土田正則	心臓血管外科 呼吸器外科	教授	28年	
遠藤直人	整形外科	教授	33年	
柴田 実	形成外科	教授	37年	
窪田正幸	小児外科	教授	34年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	30年	
伊藤雅章	皮膚科	教授	38年	
福地健郎	眼科	教授	28年	
榎本隆之	産科婦人科	教授	30年	
青山英史	放射線治療科 放射線診断科	教授	19年	
馬場 洋	麻酔科	教授	25年	
遠藤 裕	高次救命災害治療センター	教授	34年	
遠藤直人	総合リハビリテーション	教授	33年	
味岡洋一	病理部	教授	29年	
成田一衛	血液浄化療法部	教授	30年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修参加人数に関して別紙「平成25年度キャリア開発支援研修計画」（対象研修番号：33・34・35・36・37・41・42・43・48）を参照
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して「平成25年度キャリア開発支援研修計画」（対象研修番号：4・5・14・15・16・18・19・24・29・30）を参照
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院病院長 鈴木 榮一
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 宮田 幸宏

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		(医) 病歴管理室 フィルム管理室 電算機室	外来・・・1患者1カルテ番号方式 入院・・・1患者1入院につき1カルテ方式
		(歯) 医事課事務室	外来・・・平成23年1月以降電子媒体 入院・・・電子媒体（一部紙媒体）
			※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており、やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保険推進部	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	各所掌部門において管理
	第規一則号第に一掲条のる十体一制第一確項保各の号状及び況第九條の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一	
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 齋藤正志	
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室	
閲覧の手続の概要		
様式第5の保管場所・管理方法による		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	④・無
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的な考え方 2. 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本的事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 職員と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 医療事故の防止対策に関すること 2. 医療事故の防止に係る教育および研修に関すること 3. 医療事故の防止マニュアルに関すること、他	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6回
・ 研修の主な内容： 1. 「本院の院内医療事故調査について」「医歯学総合病院の現状と課題」「麻薬の取り扱いについて」 2. 「ノンテクニカルスキル（NTS）を磨いてチームの活性化につなげよう」 3. 「新潟大学医歯学総合病院における児童虐待対応チーム発足と移植医療支援センターのかかわり」「医療機関における児童虐待の臨床とは～診断と初期対応の要点～」 4. 「B型肝炎の知識の整理 ～de Novo肝炎の理解のために～」 5. 「院内暴力の現状と対策」, 「院内暴力への対応（実践）」 6. 「本院の医療安全管理について」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ④・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集 ・ 医療事故事例の医療安全推進委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証 ・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 ・ 医療事例審議委員会、（調査専門委員会）における事例分析、再発防止の検討、他	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	④（ 4名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	④（ 3名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	④・無
・ 所属職員： 専任（4）名 兼任（27）名 ・ 活動の主な内容： ・ 医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため、医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。 ・ 医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供 ・ 医療の安全管理に係る教育と研修、部署リスクマネージャーとの連携 ・ 医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認 ・ 医療に係る安全管理のための委員会（医療安全推進委員会）の運営 ・ 医療安全管理ラウンドによるインシデント事例の再発防止策の実施状況等の確認、他	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	⑦・無
・ 指針の主な内容： ・ 院内感染に関する基本的な考え方 ・ 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 ・ 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 ・ 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 15回
・ 活動の主な内容： ・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること ・ 院内感染の予防対策に関すること ・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること ・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること ・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること ・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること ・ その他院内感染対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5回
・ 研修の主な内容： 1. 『血培は2セットがおすすめ』、『抗MRSA薬のTDM』、『血液培養陽性例への対応について』、『手指衛生いつやるか？』 2. 多職種連携による感染制御の成果 3. 流行する感染症の基本対策について 4. B型肝炎の知識の整理 ～de Novo肝炎の理解のために～ 5. 本院の感染管理について	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (⑦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連ライン血流感染、心臓血管外科SSI、手指消毒薬の払い出し状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施 ・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション） ・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し迅速な感染防止対策を実施 ・ 院内感染対策基本マニュアルの改訂 ・ 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション ・ TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供）	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
研修の主な内容： 「医療安全管理について」～処方オーダーとリスクマネジメント～ 平成25年4月3日；講義 麻薬の取扱いについて 平成25年6月6、12日；講義（両日、同一の内容） 6月24～28日；上記の映像の視聴	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
- 手順書の作成 (有・無) - 業務の主な内容： H26年4月、手順書の一部を改訂。 第6 に管理方法を明記。第7 4. 与薬 を「医療スタッフマニュアル」に則り改正。 参考資料を追記。その他、表記を一部訂正	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) - その他の改善のための方策の主な内容： - 採用薬剤適正使用情報 (Vol. 39～Vol. 44) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用してメール配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は状況に応じて選択可能。 - 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2ヶ月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol. 19 No. 3 「ワクチン投与後の副反応にご注意ください！」 No. 4 「ガベキサートメシル酸塩は希釈濃度に注意!!」 No. 5 「サムスカ錠 肝機能障害に注意!!」 No. 6 「吸入液の処方について」 Vol. 20 No. 1 「低ナトリウム血症に注意！ミニリンメルトOD錠」 No. 2 「小児薬用量の体重あたりの用量と von Harnack 表を比較すると??」	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	⑦・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 49 回
・ 研修の主な内容： ・ 人工心肺装置・補助循環装置の使用説明 ・ 人工呼吸器の安全使用説明 ・ 心拍出量計の取扱い ・ 除細動装置の取扱い ・ 閉鎖式保育器の安全使用 ・ 透析装置の取扱い説明 ・ 電気メスの取扱 ・ 手術支援ロボット操作説明 ・ 麻酔器 ・ 超音波手術装置の取扱い ・ シーリングシステムの取扱い ・ パルスオキシメータ ・ 3Dマッピング装置 ・ 遠隔モニタリング ・ 手術用ナビゲーション操作 ・ 内視鏡タワー ・ 関節鏡システム	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (⑦・無) ・ 保守点検の主な内容：医療機器（人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置）に関して、保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の委員会（医療機器安全管理責任者を含む）にて評価を受ける。 *保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (⑦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有 ☐ 無
・ 公益財団法人日本医療機能評価機構：平成22年5月認定（平成26年12月に同様に受審予定）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有 ☐ 無
・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。 ・ 広報誌「和」を発行している（年2回程度）。 ・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。また、診療担当医一覧を四半期ごとに作成し、県内全医療機関に送付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有 ☐ 無
・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がん診療連携拠点病院」を開始している。平成25年4月からは腫瘍内科病床（2床）を設け、診療体制の充実を図っている。	